

令和 3 年 度

魚津市公営企業会計決算審査意見書

魚津市水道事業会計

魚津市下水道事業会計

魚津市監査委員

監査 第 25 号
令和 4 年 8 月 8 日

魚津市長 村椿 晃 様

魚津市監査委員 海原 清美

魚津市監査委員 中島 淳弥

令和 3 年度魚津市公営企業会計決算審査の意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定に基づき、審査に付された令和 3 年度魚津市水道事業会計及び魚津市下水道事業会計に係る決算報告書及び財務諸表等について審査したので、次のとおり意見書を提出します。

目 次

審査の概要	1
1 審査の対象	1
2 審査の期間	1
3 審査の方法	1
4 審査の結果	1
水道事業会計	
1 業務の状況	2
2 予算の執行状況	3
3 経営の状況	6
4 財政の状況	9
5 工事の施工状況等	12
6 経営分析	12
7 キャッシュ・フロー計算書	15
[む す び]	16
決算審査資料（水道事業会計）	17
下水道事業会計	
1 業務の状況	24
2 予算の執行状況	25
3 経営の状況	28
4 財政の状況	30
5 工事の施工状況等	33
6 経営分析	33
7 キャッシュ・フロー計算書	35
[む す び]	36
決算審査資料（下水道事業会計）	37

- (注) 1 意見書中の千円単位の金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
2 比率は小数点第2位以下を四捨五入した。
なお、「0.0」の表示は単位未満の有意数字を含む
3 上記の四捨五入のため、内訳の合計が一致しないことがある。

令和3年度 魚津市公営企業会計決算審査意見

審査の概要

1 審査の対象

令和3年度魚津市水道事業会計決算
令和3年度魚津市下水道事業会計決算

2 審査の期間

令和4年6月24日から令和4年7月28日まで

3 審査の方法

審査に当たっては、令和3年度魚津市水道事業会計及び下水道事業会計の各会計の決算報告書及び財務諸表等が、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、計数が正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか、予算執行及び会計処理が正確に行われているかなど、内容の妥当性について審査を行った。

審査の方法としては、総勘定元帳等の会計帳簿及び関係証拠書類の抽出照合、関係職員からの説明聴取を行うとともに、例月出納検査の結果も参考にした。

4 審査の結果

審査に付された決算書類及び財務諸表は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、令和3年度の経営成績及び当年度末の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

審査結果の概要は、以下のとおりである。

水道事業会計

1 業務の状況

令和3年度の給水栓数は15,654栓で、前年度より124栓（0.8%）増加、給水人口は35,725人で321人（0.9%）減少している。

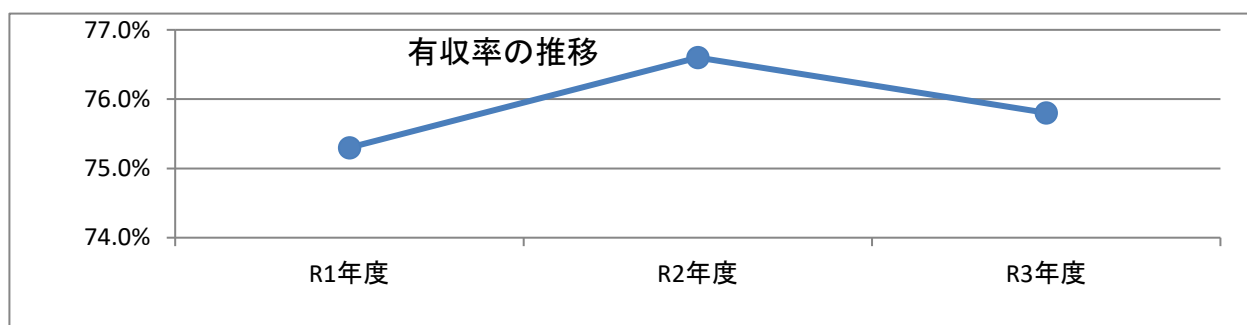
行政区域内人口に対する普及率は88.7%であり、前年度より増加している。

配水量は4,503,364 m^3 で前年度と比べ132,724 m^3 （2.9%）の減、有収水量は3,413,591 m^3 と前年度と比べ137,391 m^3 （3.9%）減少している。

有収率は75.8%と前年度より0.8ポイント減少している。有収率は配水量のうち有収水量の占める割合であり、水が有効に使われていることを示すものである。数値の減少は、老朽管からの漏水等が考えられる。

（1）業務量

項目	単位	R3年度		R2年度		R1年度	
		数量	前年度対比	数量	前年度対比	数量	前年度対比
行政区域内人口(A)	人	40,298	98.4%	40,933	98.6%	41,500	98.9%
給水人口(B)	人	35,725	99.1%	36,046	98.3%	36,668	102.5%
普及率(B/A)	%	88.7		88.1		88.4	
給水栓数	栓	15,654	100.8%	15,530	99.6%	15,593	104.1%
配水量	m^3	4,503,364	97.1%	4,636,088	101.4%	4,571,325	107.5%
有収水量	m^3	3,413,591	96.1%	3,550,982	103.1%	3,443,464	102.0%
有収率	%	75.8		76.6		75.3	



（2）建設改良事業の状況

令和3年度では、第4次拡張事業として、石垣新外地内において新たに配水管210mを布設した。

増補改良事業として、基幹管路の布設替を214m、その他配水管の布設替を580m実施するとともに、道坂第3水源地電気設備更新工事を実施した。また、東蔵簡易水道の区域内において配水管の布設替を134m実施した。

2 予算の執行状況 ※資料第2表（18頁）参照

（1） 収益的収入及び支出

各科目の予算の執行状況は、下表のとおりである。

（単位：円）

収入	区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	予算に対する 増減額 (B) - (A)	決算額の予算額対比		内仮受 消費税等
					R3年度	R2年度	
1	水道事業収益	705,237,000	696,111,033	△ 9,125,967	98.7%	99.4%	59,063,477
	(1) 営業収益	662,933,000	652,322,432	△ 10,610,568	98.4%	98.8%	58,976,233
	(2) 営業外収益	42,193,000	43,779,182	1,586,182	103.8%	102.3%	86,874
	(3) 特別利益	111,000	9,419	△ 101,581	8.5%	12.3%	370

（単位：円）

支出	区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	決算額の予算額対比		内仮払 消費税等
						R3年度	R2年度	
1	水道事業費用	668,377,000	608,616,650	0	59,760,350	91.1%	87.5%	15,898,143
	(1) 営業費用	573,864,890	523,712,650	0	50,152,240	91.3%	87.5%	15,754,408
	(2) 営業外費用	87,431,000	83,322,890	0	4,108,110	95.3%	92.9%	0
	(3) 特別損失	1,581,110	1,581,110	0	0	100.0%	98.5%	143,735
	(4) 予備費	5,500,000	0	0	5,500,000	0.0%	0.0%	0

① 収益的収入

水道事業収益は、予算額705,237千円に対し、決算額は696,111千円（内、仮受消費税等59,063千円）で、予算に対する収入率は98.7%（前年度99.4%）となっている。

決算額は、前年度より17,823千円（2.5%）の減となっている。

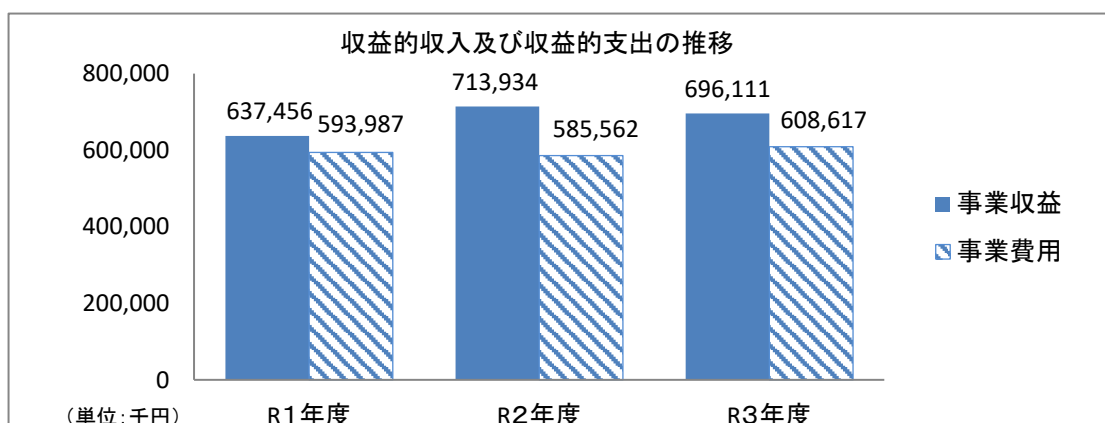
② 収益的支出

水道事業費用は、予算額668,377千円に対し、決算額は608,617千円（内、仮払消費税等15,898千円）で、執行率は91.1%となっている。

不用額は59,760千円で、その主なものは営業費用50,152千円である。

決算額は、前年度より23,055千円（3.9%）の増となっている。

営業費用は、前年度より23,825千円（4.8%）の増、営業外費用は、前年度より1,357千円（1.6%）の減、特別損失は、前年度より586千円（59.0%）の増となっている。



(2) 資本的収入及び支出

各科目の予算の執行状況は、下表のとおりである。

(単位：円)

収入	区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	予算に対する 増減額 (B)+(C)-(A)	決算額の予算額対比		内仮受 消費税等
						R3年度	R2年度	
入	1 資本的収入	267,994,000	245,536,669	0	△ 22,457,331	91.6%	101.7%	0
	(1) 企業債	191,220,000	165,900,000	0	△ 25,320,000	86.8%	88.2%	0
	(2) 出資金	38,373,000	38,372,486	0	△ 514	100.0%	100.0%	0
	(3) 固定資産売却代金	1,000	0	0	△ 1,000	0.0%	0.0%	0
	(4) 補助金	24,500,000	27,060,000	0	2,560,000	110.4%	99.8%	0
	(5) 工事負担金	13,900,000	14,204,183	0	304,183	102.2%	181.2%	0

(単位：円)

支出	区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	決算額の予算額対比		内仮払 消費税等	
						R3年度	R2年度		
出	1 資本的支出	617,881,000	599,410,657	0	18,470,343	97.0%	96.4%	26,786,458	
	(1) 建設改良費	334,211,000	315,741,357	0	18,469,643	94.5%	93.9%	26,786,458	
	内 訳	設備改良費	5,749,400	346,635	0	5,402,765	6.0%	4.1%	0
		増補改良事業費	253,203,600	248,793,600	0	4,410,000	98.3%	98.6%	22,617,600
		拡張事業費	47,415,000	46,498,000	0	917,000	98.1%	90.5%	4,150,000
		建設改良事務費	27,843,000	20,103,122	0	7,739,878	72.2%	67.7%	18,858
(2) 企業債償還金	283,670,000	283,669,300	0	700	100.0%	100.0%	0		

① 資本的収入

資本的収入は、予算額267,994千円に対し、決算額は245,537千円で、予算に対する収入率は91.6%である。

決算額は前年度に比べ、53,986千円(18.0%)の減となっている。これは主に、令和3年度の補助金が27,060千円で前年度より33,533千円(55.3%)の減、工事負担金が14,204千円で前年度より41,339千円(74.4%)の減となったことによる。

② 資本的支出

資本的支出は、予算額617,881千円に対し、決算額は599,411千円(内、仮払消費税等26,786千円)で、執行率97.0%(前年度96.4%)となっている。

決算額は前年度に比べ、55,769千円(8.5%)の減となっている。これは主に、建設改良費が前年度より59,924千円(16.0%)の減となったためである。

建設改良費の内訳では、設備改良費で前年度より72千円(26.4%)の増、増補改良事業費で前年度より67,876千円(21.4%)の減、拡張事業費で前年度より7,239千円(18.4%)の増となっている。建設改良事務費は、前年度より640千円(3.3%)の増となっている。

また、企業債償還金は、前年度より4,155千円(1.5%)の増となっている。

③ 補てん財源

(単位：円)

区 分	R 3 年度金額	R 2 年度金額	対前年度 増減額	前年度 対 比	
資本的収入額が資本的 支出額に不足する額	353,873,988	355,656,997	△ 1,783,009	99.5%	
補 て ん 財 源	当年度分消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	23,123,095	22,122,735	1,000,360	104.5%
	過年度分損益勘定留保資金	742,835	14,458,569	△ 13,715,734	5.1%
	当年度分損益勘定留保資金	253,311,858	251,075,693	2,236,165	100.9%
	減債積立金取崩	52,000,000	0	52,000,000	皆増
	建設改良積立金取崩	24,696,200	68,000,000	△ 43,303,800	36.3%
	計	353,873,988	355,656,997	△ 1,783,009	99.5%

資本的収入額が資本的支出額に不足する額353,874千円は、前年度より1,783千円(0.5%)の減となっている。

不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額のほか、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、減債積立金取崩、建設改良積立金取崩で補てんしている。

(3) その他の事項

① 企業債の状況

(単位：円)

区 分	R 3 年度金額	R 2 年度金額	対前年度 増減額	前年度 対比
発 行 額	165,900,000	146,600,000	19,300,000	113.2%
償 還 額	283,669,300	279,514,458	4,154,842	101.5%
未償還残高	4,415,965,760	4,533,735,060	△ 117,769,300	97.4%
支 払 利 息	62,530,015	67,187,479	△ 4,657,464	93.1%

企業債の期首残高は4,533,735千円であり、令和3年度発行額は165,900千円、償還額は283,669千円であり、未償還残高は4,415,966千円である。

② 一時借入金

令和3年度の一時借入金は無い。

③ たな卸資産の取得状況

たな卸資産の購入額は2,982千円であり、予算に定められたたな卸資産の購入限度額10,000千円の限度内である。

3 経営の状況

※資料第3表（19頁）、第4表（20頁）参照

(1) 損益収支（税抜）

収益内訳表

（単位：円）

区 分	R3年度		R2年度		対前年度 増減額	前年度 対比
	金額	構成比	金額	構成比		
1 営業収益	593,346,199	93.1%	541,736,676	82.1%	51,609,523	109.5%
(1) 給水収益	571,443,887	89.7%	521,309,457	79.0%	50,134,430	109.6%
(2) 受託工事収益	0	0.0%	0	0.0%	0	-
(3) その他営業収益	21,902,312	3.4%	20,427,219	3.1%	1,475,093	107.2%
2 営業外収益	43,692,308	6.9%	118,091,394	17.9%	△ 74,399,086	37.0%
(1) 受取利息	20,748	0.0%	20,695	0.0%	53	100.3%
(2) 他会計補助金	10,169,485	1.6%	83,622,578	12.7%	△ 73,453,093	12.2%
(3) 長期前受金戻入	31,385,182	5.0%	29,454,031	4.5%	1,931,151	106.6%
(4) 雑収益	2,116,893	0.3%	4,994,090	0.8%	△ 2,877,197	42.4%
3 特別利益	9,049	0.0%	12,531	0.0%	△ 3,482	72.2%
(1) 固定資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	-
(2) 過年度損益修正益	9,049	0.0%	12,531	0.0%	△ 3,482	72.2%
総 収 益	637,047,556	100.0%	659,840,601	100.0%	△ 22,793,045	96.5%

費用内訳表

（単位：円）

区 分	R3年度		R2年度		対前年度 増減額	前年度 対比
	金額	構成比	金額	構成比		
1 営業費用	507,958,242	79.7%	485,376,795	73.6%	22,581,447	104.7%
(1) 原水及び浄水費	57,357,623	9.0%	60,113,188	9.1%	△ 2,755,565	95.4%
(2) 配水及び給水費	54,244,944	8.5%	50,431,868	7.6%	3,813,076	107.6%
(3) 受託工事費	0	0.0%	0	0.0%	0	-
(4) 総係費	110,476,933	17.3%	93,436,940	14.2%	17,039,993	118.2%
(5) 減価償却費	284,351,190	44.6%	281,371,639	42.6%	2,979,551	101.1%
(6) 資産減耗費	1,527,552	0.2%	23,160	0.0%	1,504,392	6595.6%
(7) その他営業費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
2 営業外費用	63,534,350	10.0%	67,309,970	10.2%	△ 3,775,620	94.4%
(1) 支払利息	62,530,015	9.8%	67,187,479	10.2%	△ 4,657,464	93.1%
(2) 雑支出	1,004,335	0.2%	122,491	0.0%	881,844	819.9%
3 特別損失	1,437,375	0.2%	904,846	0.1%	532,529	158.9%
(1) その他特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	-
(2) 過年度損益修正損	1,437,375	0.2%	904,846	0.1%	532,529	158.9%
総 費 用	572,929,967	89.9%	553,591,611	83.9%	19,338,356	103.5%
当年度純利益	64,117,589	10.1%	106,248,990	16.1%	△ 42,131,401	60.3%
合 計	637,047,556	100.0%	659,840,601	100.0%	△ 22,793,045	96.5%

令和3年度の総収益は637,048千円で、前年度より22,793千円（3.5%）減少している。

営業収益は593,346千円で前年度より51,610千円（9.5%）の増となっているが、営業外収益は43,692千円で前年度より74,399千円（63.0%）の減となっている。営業収益の内、給水収益は前年度より50,134千円（9.6%）の増である。これは、前年度に新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）対策として、水道基本料金及び量水器使用料を減免しており、令和3年度は本来の給水収益となったためである。その他営業収益は前年度より1,475千円（7.2%）の増となった。営業外収益のうち、他会計補助金が前年度より73,453千円（87.8%）、雑収益が前年度より2,877千円（57.6%）の減となっている。

総費用は572,930千円で、前年度より19,338千円(3.5%)の増となっている。この内、営業費用は507,958千円で、前年度より22,581千円(4.7%)の増である。これは、配水及び給水費で漏水修理費、総係費で新水道ビジョン策定委託料が増加したことによる。営業外費用は63,534千円で前年度より3,776千円(5.6%)の減となっている。また、特別損失は1,437千円で前年度より533千円(58.9%)の増となっている。

この結果、総収益から総費用を差し引いた当年度純利益は64,118千円で、前年度より42,131千円(39.7%)の減となっている。

(2) 経営収支(税抜)

(単位:円)

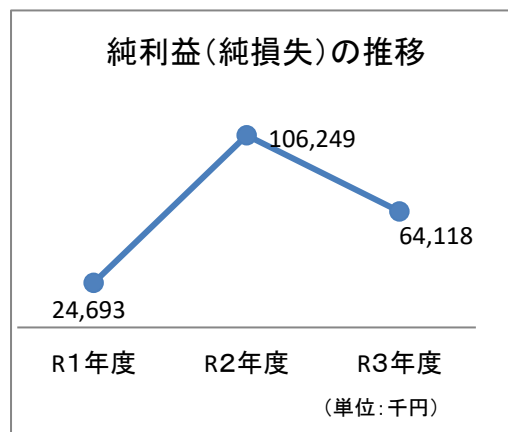
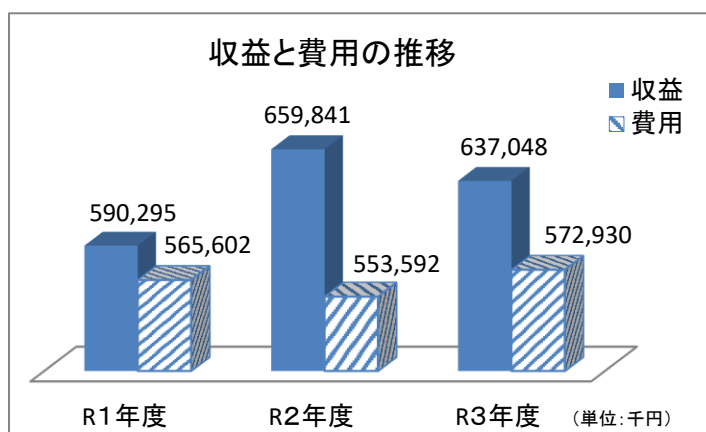
区 分		R3年度	R2年度	対前年度 増減額	前年度 対比
営業 収 支	営業収益	593,346,199	541,736,676	51,609,523	109.5%
	営業費用	507,958,242	485,376,795	22,581,447	104.7%
営業利益・損失 (A)		85,387,957	56,359,881		
営業 外 収 支	営業外収益	43,692,308	118,091,394	△ 74,399,086	37.0%
	営業外費用	63,534,350	67,309,970	△ 3,775,620	94.4%
営業外利益・損失 (B)		△ 19,842,042	50,781,424		
経常利益 (A)+(B)=(C)		65,545,915	107,141,305	△ 41,595,390	61.2%
特別 収 支	特別利益	9,049	12,531	△ 3,482	72.2%
	特別損失	1,437,375	904,846	532,529	158.9%
特別利益・損失 (D)		△ 1,428,326	△ 892,315		
当年度純利益・純損失 (C)+(D)		64,117,589	106,248,990	△ 42,131,401	60.3%

営業収支では、収益593,346千円に対し、費用は507,958千円で、85,388千円の利益が生じている。

営業外収支では、収益43,692千円に対し、費用は63,534千円で、19,842千円の損失となっている。

経常利益(C)は、65,546千円で、特別利益・損失(D)は、1,428千円の損失となっている。

この結果、当年度純利益は64,118千円となり、前年度より42,131千円(39.7%)の減となっている。



(3) 供給単価と給水単価

(単位：円)

区 分	算 式	R3年度	R2年度	対前年度 増減	類似団体 (R02年度)
1 m ³ 当たり 供給単価	<u>給水収益</u> 有収水量	167.40	146.81	20.59	163.92
1 m ³ 当たり 給水原価	<u>経常費用－受託事業費</u> 有収水量	158.22	147.35	10.87	171.13
差引損益	供給単価－給水原価	9.18	△ 0.54	9.72	△ 7.21

*類似団体は、総務省「水道事業経営指標」による給水人口3万人以上5万人未満の市町村の全国平均値

令和3年度の有収水量1 m³当たりの供給単価は167.40円となり、前年度と比べると20.59円の増となっている。前年度は、コロナの影響による水道基本料金等の減免があり給水収益が少なかったが、当該年度は、減免等を実施しなかったため、収益が増加したことによる。

給水原価は158.22円で、前年度より10.87円の増となっている。主に、新水道ビジョン策定の委託料や漏水修理費の経常費用が増となったことによるものである。

この結果、供給単価と給水原価との差引損益は9.18円となり、前年度と比べると9.72円の増となっている。

4 財政の状況

※資料第5表（21～22頁）参照

（1）資産

（単位：円）

区 分	R3年度		R2年度		対前年度 増減額	前年度 対比
	金額	構成比	金額	構成比		
1 固定資産	7,865,034,128	93.2%	7,861,957,971	92.8%	3,076,157	100.0%
（1）有形固定資産	7,858,365,946	93.1%	7,851,810,871	92.7%	6,555,075	100.1%
ア 土地	244,886,389	2.9%	244,886,389	2.9%	0	100.0%
イ 建物	151,531,255	1.8%	157,823,236	1.9%	△ 6,291,981	96.0%
ウ 構築物	7,236,595,915	85.8%	7,026,810,429	82.9%	209,785,486	103.0%
エ 機械及び装置	179,936,121	2.1%	175,497,186	2.1%	4,438,935	102.5%
オ 車両運搬具	502,291	0.0%	502,291	0.0%	0	100.0%
カ 工具器具及び備品	4,000,154	0.0%	4,379,594	0.1%	△ 379,440	91.3%
キ 建設仮勘定	40,913,821	0.5%	241,911,746	2.9%	△ 200,997,925	16.9%
（2）無形固定資産	5,251,182	0.1%	8,730,100	0.1%	△ 3,478,918	60.2%
ア 電話加入権	41,200	0.0%	41,200	0.0%	0	100.0%
イ ソフトウェア	5,209,982	0.1%	8,688,900	0.1%	△ 3,478,918	60.0%
（3）投資	1,417,000	0.0%	1,417,000	0.0%	0	100.0%
ア 投資有価証券	0	0.0%	0	0.0%	0	-
イ 出資金	1,417,000	0.0%	1,417,000	0.0%	0	100.0%
2 流動資産	573,476,541	6.8%	610,674,246	7.2%	△ 37,197,705	93.9%
（1）現金・預金	462,978,054	5.5%	468,400,811	5.5%	△ 5,422,757	98.8%
（2）未収金	92,091,140	1.1%	123,905,041	1.5%	△ 31,813,901	74.3%
（3）貯蔵品	8,407,347	0.1%	8,368,394	0.1%	38,953	100.5%
（4）前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
（5）その他流動資産	10,000,000	0.1%	10,000,000	0.1%	0	100.0%
資 産 合 計	8,438,510,669	100.0%	8,472,632,217	100.0%	△ 34,121,548	99.6%

有形固定資産のうち、建物で6,292千円、工具器具及び備品で379千円、建設仮勘定で200,998千円の減となり、構築物で209,785千円、機械及び装置で4,439千円の増となっている。無形固定資産のうち、ソフトウェアで3,479千円の減となっている。

流動資産では、現金・預金で5,423千円、未収金で31,814千円の減となっている。

(2) 未収金 (滞納額：不納欠損前)

未収金内訳表

① 総括表

(単位：円)

区 分	R3年度分 A	内 納 期 経過済額 B	R2年度 以前分 C	合計 (A + C) D	滞納分計 B + C	R2年度末 現在高 E	対前年度 D - E
未収給水収益	71,897,920	4,705,280	2,108,580	74,006,500	6,813,860	76,584,810	△ 2,578,310
未収受託収益	0	0	0	0	0	0	0
その他未収金	18,972,910	0	0	18,972,910	0	47,754,951	△ 28,782,041
合 計	90,870,830	4,705,280	2,108,580	92,979,410	6,813,860	124,339,761	△ 31,360,351

令和3年度末の未収金(Dの合計)は92,979千円であり、前年度(Eの合計)より31,360千円(25.2%)の減となっている。内訳は未収給水収益が2,578千円、その他未収金が28,782千円の減であった。

その他未収金の主なものは、下水道事業会計からの収納事務受託金、一般会計からの繰入金である。

未収金の内、滞納額は6,814千円であり、前年度より47千円(0.7%)の増となっている。この内訳は、令和2年度以前分(C)が2,109千円、令和3年度分(B)が4,705千円である。

② 令和2年度以前分明細

(単位：円)

未収給水収益	H28年度 以前分	H29年度分	H30年度分	R1年度分	R2年度分	合 計
R2年度末現在 A	237,450	488,170	460,280	758,730	74,640,180	76,584,810
R3年度末現在 B	35,510	454,820	383,920	475,550	758,780	2,108,580
比較増減 (B - A)	△ 201,940	△ 33,350	△ 76,360	△ 283,180	△ 73,881,400	△ 74,476,230

(3) 負債及び資本・剰余金

(単位:円)

区 分	R3年度		R2年度		対前年度 増減額	前年度 対比
	金額	構成比	金額	構成比		
1 固定負債	4,133,748,139	49.0%	4,250,065,761	50.2%	△ 116,317,622	97.3%
(1) 企業債	4,133,748,139	49.0%	4,250,065,761	50.2%	△ 116,317,622	97.3%
ア 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	4,133,748,139	49.0%	4,250,065,761	50.2%	△ 116,317,622	97.3%
イ その他の企業債	0	0.0%	0	0.0%	0	-
2 流動負債	346,715,937	4.1%	373,225,576	4.4%	△ 26,509,639	92.9%
(1) 企業債	282,217,621	3.3%	283,669,299	3.3%	△ 1,451,678	99.5%
ア 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	282,217,621	3.3%	283,669,299	3.3%	△ 1,451,678	99.5%
イ その他の企業債	0	0.0%	0	0.0%	0	-
(2) 未払金	33,944,197	0.4%	59,069,814	0.7%	△ 25,125,617	57.5%
(3) 引当金	5,237,000	0.1%	5,257,000	0.1%	△ 20,000	99.6%
ア 賞与引当金	4,447,000	0.1%	4,467,000	0.1%	△ 20,000	99.6%
イ 貸倒引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
ウ 法定福利費引当金	790,000	0.0%	790,000	0.0%	0	100.0%
(4) その他流動負債	25,317,119	0.3%	25,229,463	0.3%	87,656	100.3%
ア 上下水道料金預り金	15,335,110	0.2%	14,280,230	0.2%	1,054,880	107.4%
イ その他流動負債	9,982,009	0.1%	10,949,233	0.1%	△ 967,224	91.2%
3 繰延収益	922,869,594	10.9%	916,653,956	10.8%	6,215,638	100.7%
(1) 長期前受金	1,463,782,446	17.3%	1,426,181,626	16.8%	37,600,820	102.6%
(2) 収益化累計額	△ 540,912,852	△ 6.4%	△ 509,527,670	△ 6.0%	△ 31,385,182	106.2%
4 資本金	2,496,497,332	29.6%	2,390,124,846	28.2%	106,372,486	104.5%
(1) 自己資本金	2,496,497,332	29.6%	2,390,124,846	28.2%	106,372,486	104.5%
5 剰余金	538,679,667	6.4%	542,562,078	6.4%	△ 3,882,411	99.3%
(1) 資本剰余金	1,759,251	0.0%	1,759,251	0.0%	0	100.0%
ア 国庫補助金	1,413,600	0.0%	1,413,600	0.0%	0	100.0%
イ 県補助金	139,677	0.0%	139,677	0.0%	0	100.0%
ウ その他資本剰余金	205,974	0.0%	205,974	0.0%	0	100.0%
(2) 利益剰余金	536,920,416	6.4%	540,802,827	6.4%	△ 3,882,411	99.3%
ア 減債積立金	271,106,627	3.2%	216,857,637	2.6%	54,248,990	125.0%
イ 建設改良積立金	25,000,000	0.3%	49,696,200	0.6%	△ 24,696,200	50.3%
ウ 当年度未処分 利益剰余金	240,813,789	2.9%	274,248,990	3.2%	△ 33,435,201	87.8%
前年度繰越 未処理欠損金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
当年度純利益	64,117,589	0.8%	106,248,990	1.3%	△ 42,131,401	60.3%
繰越利益剰余金	100,000,000	1.2%	100,000,000	1.2%	0	100.0%
その他未処分 利益剰余金変動額	76,696,200	0.9%	68,000,000	0.8%	8,696,200	112.8%
負債・資本合計	8,438,510,669	100.0%	8,472,632,217	100.0%	△ 34,121,548	99.6%

令和3年度の負債・資本総額は8,438,511千円で、この内訳は、固定負債4,133,748千円、流動負債346,716千円、繰延収益922,870千円、資本金2,496,497千円、剰余金538,680千円となっており、前年度と比べると34,122千円(0.4%)の減となっている。

固定負債のうち、企業債は、元金283,669千円を償還し、新たに165,900千円の借入を行った。

流動負債は、前年度より26,510千円(7.1%)の減となったが、これは主に、未払金が25,126千円(42.5%)の減となったためである。

繰延収益は、6,216千円(0.7%)の増となった。

資本金は、自己資本金が106,372千円(4.5%)の増となっている。

剰余金については、利益剰余金が3,882千円(0.7%)の減となった。

令和3年度未処分利益剰余金は前年度より33,435千円(12.2%)の減となっている。

5 工事の施工状況等

令和3年度の拡張事業等の執行額は下記の表のとおりである。

(単位：円)

区分	予算額 A	執行額 B	繰越額 C	不用額 A-B-C	執行率 B/A	前年度 執行額	前年度 執行率
拡張事業	47,415,000	46,498,000	0	917,000	98.1%	11,209,000	90.4%
増補改良事業	253,203,600	248,793,600	0	4,410,000	98.3%	316,669,100	98.6%
受託工事業	5,000,000	0		5,000,000	0.0%	0	0.0%
合計	305,618,600	295,291,600	0	10,327,000	96.6%	327,878,100	96.3%

このうち、1件100万円以上の工事は、下記の表のとおりである。

区分	件数	執行額(円)
拡張事業	1	45,650,000
増補改良事業	11	246,879,600

なお、保存工事は、給水管工事177件、配水管工事18件の計195件行っている。
量水器取替は計1,797件行っている。

6 経営分析

経営に関する数値を前年度と比べると次のとおりである。

(1) 構成比率

構成部分の全体に対する関係を表すものであり、②③の比率は、前年度より若干改善しているが、類似団体と比較すると依然としてよくない値である。

① 固定資産構成比率 93.2% 前年比0.4ポイント増 (類似団体86.7%)

区分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	93.2%	92.8%	0.4
類似団体 (B)	86.7%	86.5%	0.2
比較 (A-B)	6.5%	6.3%	0.2

総資産に占める固定資産の割合を示すもので、高いほど資本が固定化の傾向にある。

② 固定負債構成比率 49.0% 前年比1.2ポイント減 (類似団体26.4%)

区分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	49.0%	50.2%	△ 1.2
類似団体 (B)	26.4%	26.3%	0.1
比較 (A-B)	22.6%	23.9%	△ 1.3

総資本に占める固定負債(借入資本金含む)の割合であり、高いほど他人資本(借入資本金+固定負債)依存度が強い事になる。

③ 自己資本構成比率 46.9% 前年比1.5ポイント増 (類似団体69.6%)

区分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	46.9%	45.4%	1.5
類似団体 (B)	69.6%	70.0%	△ 0.4
比較 (A-B)	△ 22.7%	△ 24.6%	1.9

総資本に占める自己資本の割合を示すもので、高いほど経営が安定しているとされる。

(2) 財務比率

貸借対照表における資産と負債又は資本との相互関係を表すものである。企業債償還元金対減価償却費比率においては、前年度より悪化している。固定比率及び流動比率については、若干の改善がみられたものの依然として悪い傾向にある。

① 固定資産対長期資本比率 97.2% 前年比0.1ポイント増 (類似団体90.4%)

区 分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	97.2%	97.1%	0.1
類似団体 (B)	90.4%	89.8%	0.6
比較 (A-B)	6.8%	7.3%	△ 0.5

常に100%以下でかつ、低いことが望ましく、100%を超えた場合は固定資産に対して過大投資が行われたものといえるこの比率が低い方が柔軟な経営が可能となる。

② 企業債償還元金対減価償却費比率 112.1% 前年比1.1ポイント増 (類似団体85.2%)

区 分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	112.1%	111.0%	1.1
類似団体 (B)	85.2%	81.6%	3.6
比較 (A-B)	26.9%	29.4%	△ 2.5

投下資本の回収と再投資との間のバランスを見る指標である。企業債元金の償還は損益勘定留保資金によることとなるが、その源泉は主に減価償却費によるものである。この比率は100%を超えると再投資を行うに当たって企業債等の外部資金に頼らざるを得なくなり、投資の健全性は損なわれる。

③ 固定比率 198.7% 前年比5.5ポイント減 (類似団体124.7%)

区 分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	198.7%	204.2%	△ 5.5
類似団体 (B)	124.7%	123.7%	1.0
比較 (A-B)	74.0%	80.5%	△ 6.5

自己資本がどの程度固定資産に投下されているかをみる指標であり100%以下が望ましいとされている。100%を超えていても、①の固定資産対長期資本比率が、100%を下回っていれば、長期的な資本の枠内で投資が行われていることを示す。

④ 流動比率 165.4% 前年比1.8ポイント増 (類似団体327.8%)

区 分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	165.4%	163.6%	1.8
類似団体 (B)	327.8%	365.2%	△ 37.4
比較 (A-B)	△ 162.4%	△ 201.6%	39.2

1年以内に返済する必要のある債務(流動負債)に対する、現金化の容易な資産(流動資産)の比率である。100%以上であることが必要であり、理想比率は200%以上である。

(3) 回転率

企業の活動性を示し、比率が大きいほど資本が効率的に使われていることを表す。前年度と比較してみると、自己資本回転率では増減がなかった。流動資産回転率、未収金回転率とも若干改善している。

① 自己資本回転率 0.04回 前年比増減なし (類似団体0.11回)

区 分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	0.04	0.04	0.00
類似団体 (B)	0.11	0.11	0.00
比較 (A-B)	△ 0.07	△ 0.07	0.00

数値が高いほど自己資本が効率的に使われ、営業活動が活発であることを示す。

② 流動資産回転率 0.25回 前年比0.02ポイント増（類似団体0.54回）

区 分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	0.25	0.23	0.02
類似団体 (B)	0.54	0.57	△ 0.03
比較 (A-B)	△ 0.29	△ 0.34	0.05

現金預金回転率、未収金回転率、貯蔵品回転率などを包括するもので、これらの回転率が高くなればそれに応じて高くなる。

③ 未収金回転率 1.37回 前年比0.25ポイント増（類似団体5.88回）

区 分	R3年度	R1年度	前年比
魚津市 (A)	1.37	1.12	0.25
類似団体 (B)	5.88	6.30	△ 0.42
比較 (A-B)	△ 4.51	△ 5.18	0.67

未収金の回収度を測定するもので、一般的に高いほど未収期間が短く、早く回収されることを表している。

(4) 収益率

収益と費用を対比して企業の経営活動の成果を表すものである。当年度純利益が前年度より減となったため、収益率は下がった。

① 総資本利益率 0.19% 前年比0.13ポイント減（類似団体0.76%）

区 分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	0.19%	0.32%	△ 0.13
類似団体 (B)	0.76%	0.78%	△ 0.02
比較 (A-B)	△ 0.57%	△ 0.46%	△ 0.11

投下した総資本とそれによってもたらされた利益とを比較したもので、数値が高いほど事業の収益性が高いことになる。

② 総収支比率 111.2% 前年比8.0ポイント減（類似団体108.5%）

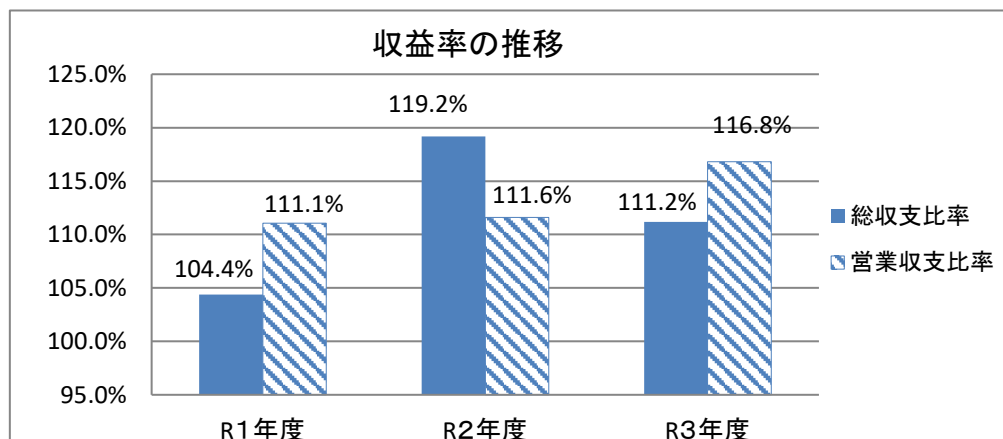
区 分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	111.2%	119.2%	△ 8.0
類似団体 (B)	108.5%	109.0%	△ 0.5
比較 (A-B)	2.7%	10.2%	△ 7.5

企業全体の収支の均衡をみるものであり、数値が高いほど利益率は良いことを表す。100%未満は、純損失が生じていることを意味する。

③ 営業収支比率 116.8% 前年比5.2ポイント増（類似団体91.5%）

区 分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	116.8%	111.6%	5.2
類似団体 (B)	91.5%	95.1%	△ 3.6
比較 (A-B)	25.3%	16.5%	8.8

営業収益と営業費用を対比したもので、数値が高いほど営業利益率が良いことを表す。100%未満は、営業損失が生じていることを意味する。



7 キャッシュ・フロー計算書

業務活動によるキャッシュ・フローは、通常の業務活動の実施による資金の収支や投資活動及び財務活動以外の収支を表すもので、325,328千円である。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得及び売却等の収支を表し、△251,354千円である。財務活動によるキャッシュ・フローは、資金調達、返済に関する収支を表し、△79,397千円である。

業務活動で得た資金を、投資活動及び財務活動に投入し、差引き5,423千円資金が減少した。この結果、令和3年度の期末残高は462,978千円となっている。

(単位：円)

区 分	R 3年度 A	R 2年度 B	増減 A-B
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益 (△純損失)	64,117,589	106,248,990	△ 42,131,401
減価償却費	284,351,190	281,371,639	2,979,551
引当金の増加額 (△減少)	△ 20,000	△ 99,000	79,000
貸倒引当金の増減額 (△減少)	453,550	△ 233,280	686,830
長期前受金戻入額	△ 31,385,182	△ 29,454,031	△ 1,931,151
固定資産除却損	1,527,552	23,160	1,504,392
固定資産売却損・益 (△)	0	0	0
受取利息収入 (△)	△ 20,748	△ 20,695	△ 53
支払利息	62,530,015	67,187,479	△ 4,657,464
未収金の増加 (△)・減少額	31,360,351	△ 7,539,589	38,899,940
たな卸資産の増減額 (△増)	△ 38,953	△ 2,485,123	2,446,170
前払金の増減額 (△増)	0	0	0
未払金の増減額 (△減少)	△ 25,125,617	31,733,188	△ 56,858,805
前受金の増減額 (△減)	0	0	0
その他の流動資産の増加 (△)・減少額	0	0	0
その他の流動負債の増加・減少 (△) 額	87,656	△ 105,429	193,085
小 計	387,837,403	446,627,309	△ 58,789,906
利息受取額	20,748	20,695	53
利息支払額	△ 62,530,015	△ 67,187,479	4,657,464
業務活動によるキャッシュ・フロー	325,328,136	379,460,525	△ 54,132,389
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 288,954,899	△ 343,290,813	54,335,914
有形固定資産の売却による収入	0	0	0
無形固定資産の取得による支出	0	0	0
無形固定資産の売却による収入	0	0	0
固定資産の除去による支出	0	0	0
補助金による収入	24,632,727	55,108,182	△ 30,475,455
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	0	0	0
負担金等による収入	12,968,093	50,776,028	△ 37,807,935
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 251,354,079	△ 237,406,603	△ 13,947,476
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
一時借入による収入	0	0	0
一時借入の返済による支出	0	0	0
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	165,900,000	146,600,000	19,300,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 283,669,300	△ 279,514,458	△ 4,154,842
他会計からの出資による収入	38,372,486	36,786,799	1,585,687
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 79,396,814	△ 96,127,659	16,730,845
4 資金増加額 (又は減少額)	△ 5,422,757	45,926,263	△ 51,349,020
5 資金期首残高	468,400,811	422,474,548	45,926,263
6 資金期末残高	462,978,054	468,400,811	△ 5,422,757

令和3年度の経営成績は、総収益637,048千円に対し総費用は572,930千円で、64,118千円の純利益の黒字決算となっている。前年度と比較すると42,132千円(39.7%)の減益である。

総収益は、前年度より22,793千円(3.5%)の減となっているが、これは他会計補助金が前年度より73,453千円の減となったことが主な要因である。総費用は、前年度比3.5%の増加となっている。これは、配水及び給水費、総係費の増加が要因である。

収益については、市の人口減少の影響のほか、節水意識の向上、高機能の節水機器の普及など循環型社会の定着、気象状況などに左右されることから、十分な経営分析を行うとともに、今後とも経費の節減に努め、経営の健全化に一層努めていきたい。

資本的収支では収入額245,537千円に対し、支出額は599,411千円であり、差引不足額353,874千円を当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、建設改良積立金取崩分、減債積立金取崩分で補てんしている。

企業債は、事業実施の際の主要な財源である。令和3年度末の未償還残高は前年度末より117,769千円減少し、4,415,966千円である。引続き拡張事業が実施される予定であり、経営状況を十分に勘案し、計画的な実施と未償還残高の減少に努められたい。

有収率の向上は、経営上重要な課題であり、魚津市においては75.8%と全国の類似団体平均値84.2%を下回っている。有収率の向上のために、老朽管の更新や漏水調査による漏水修理工事等を実施し、適切な維持管理を図られたい。

水道使用料の滞納額については、前年度より47千円(0.7%)の増となっている。利用者負担の公平性を考え、引き続き、滞納発生防止と未収金の早期回収に努められたい。

第4次拡張事業と並行し、老朽管更新と浄水場、配水池及び基幹管路の耐震化による長寿命化を図り、必要に応じてダウンサイジングによる規模適正化を検討されたい。

今後の事業経営にあたっては、新たに策定された「魚津市水道事業新水道ビジョン」により、施設の適切な維持管理と更なる安定的な経営基盤の強化を図り、引き続き、安心して安全なおいしい水の安定供給を望むものである。

水道事業会計 決算審査資料

- 第1表 業務実績表
- 第2表 予算決算比較表
- 第3表—1 総収益・総費用比較表
 - 2 総収益内訳表
 - 3 使途別費用内訳表
- 第4表 損益計算書構成及びすう勢比率表
- 第5表—1 貸借対照表構成及びすう勢比率表（資産）
 - 2 同（負債及び資本）
- 第6表 経営分析表

【第1表】

業 務 実 績 表

年度 項目	単位	R3年度		R2年度		R1年度		H30年度		H29年度		すう勢比率				備 考
		数量	前年度 対比	数量	前年度 対比	数量	前年度 対比	数量	前年度 対比	数量	前年度 対比	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	
行政区域内人口(A)	人	40,298	98.4%	40,933	98.6%	41,500	98.9%	41,944	99.3%	42,224	99.1%	95.4%	96.9%	98.3%	99.3%	年度末現在
計画給水人口	人	42,900	100.0%	42,900	100.0%	42,900	100.0%	42,900	100.0%	42,900	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	年度末現在
給水人口(B)	人	35,725	99.1%	36,046	98.3%	36,668	102.5%	35,790	99.4%	36,013	99.6%	99.2%	100.1%	101.8%	99.4%	年度末現在
普及率(B/A)	%	88.7%	100.7%	88.1%	99.7%	88.4%	103.6%	85.3%	100.0%	85.3%	100.6%	104.0%	103.3%	103.6%	100.0%	年度末現在
給水栓数	栓	15,654	100.8%	15,530	99.6%	15,593	104.1%	14,973	100.9%	14,836	101.3%	105.5%	104.7%	105.1%	100.9%	年度末現在
配水量	m ³	4,503,364	97.1%	4,636,088	101.4%	4,571,325	107.5%	4,250,613	101.3%	4,198,119	100.9%	107.3%	110.4%	108.9%	101.3%	年間総量
有収水量	m ³	3,413,591	96.1%	3,550,982	103.1%	3,443,464	102.0%	3,376,849	98.3%	3,434,061	100.6%	99.4%	103.4%	100.3%	98.3%	年間総量
有効無収水量	m ³	101,645	99.8%	101,887	104.3%	97,645	111.2%	87,798	97.2%	90,350	103.4%	112.5%	112.8%	108.1%	97.2%	年間総量
無効水量	m ³	988,128	100.5%	983,219	95.4%	1,030,216	131.1%	785,966	116.7%	673,708	101.8%	146.7%	145.9%	152.9%	116.7%	年間総量
有収率	%	75.8	99.0%	76.6	101.7%	75.3	94.8%	79.4	97.1%	81.8	99.8%	92.7%	93.6%	92.1%	97.1%	有収水量 配水量
有効水量率	%	78.1	99.1%	78.8	101.7%	77.5	95.1%	81.5	97.0%	84.0	99.9%	93.0%	93.8%	92.3%	97.0%	有収水量+有効無収水量 配水量
1日最大配水量	m ³	15,266	69.3%	22,030	135.5%	16,263	100.8%	16,129	80.4%	20,056	121.5%	76.1%	109.8%	81.1%	80.4%	年度内
1日平均配水量	m ³	12,338	97.1%	12,702	101.7%	12,490	107.2%	11,646	101.3%	11,502	100.9%	107.3%	110.4%	108.6%	101.3%	年度内
管路延長	km	333.1	100.1%	332.9	100.1%	332.7	100.1%	332.5	100.2%	332.0	100.2%	100.3%	100.5%	100.2%	100.2%	年度末現在
職員数	人	10	100.0%	10	100.0%	10	100.0%	10	100.0%	10	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	上水道関係職員
1 m ³ 当り収益	円	186.6	100.4%	185.8	108.4%	171.4	102.8%	166.7	100.5%	165.8	101.3%	112.5%	112.1%	103.4%	100.5%	総収益 有収水量
1 m ³ 当り費用	円	167.8	107.6%	155.9	94.9%	164.3	110.4%	148.8	103.5%	143.8	97.8%	116.7%	108.4%	114.3%	103.5%	総費用 有収水量
1 m ³ 給水収益	円	167.4	114.0%	146.8	95.7%	153.4	103.1%	148.8	100.0%	148.8	100.1%	112.5%	98.7%	103.1%	100.0%	給水収益 有収水量
給水原価	円/m ³	158.2	107.3%	147.4	94.8%	155.5	112.4%	138.3	101.1%	136.8	97.9%	115.7%	107.7%	113.7%	101.1%	※
供給単価	円/m ³	167.4	114.0%	146.8	95.6%	153.5	103.2%	148.8	99.9%	148.9	100.1%	112.4%	98.6%	103.1%	99.9%	給水収益-消火栓使用料 有収水量

(注) すう勢比率は、平成29年度を100とする。

※ 経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)
年間総有収水量

【第2表】

予 算 決 算 比 較 表

(1) 収益の収入 (単位:円)

科目	予 算 現 額						決 算 額					
	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度 対 比	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度 対 比
1 水道事業収益	705,237,000	100.0%	718,405,000	100.0%	△ 13,168,000	98.2%	696,111,033	100.0%	713,934,302	100.0%	△ 17,823,269	97.5%
(1) 営業収益	662,933,000	94.0%	602,773,000	83.9%	60,160,000	110.0%	652,322,432	93.7%	595,747,826	83.4%	56,574,606	109.5%
(2) 営業外収益	42,193,000	6.0%	115,521,000	16.1%	△ 73,328,000	36.5%	43,779,182	6.3%	118,172,846	16.6%	△ 74,393,664	37.0%
(3) 特別利益	111,000	0.0%	111,000	0.0%	0	100.0%	9,419	0.0%	13,630	0.0%	△ 4,211	69.1%

(2) 収益の支出 (単位:円)

科目	予 算 現 額						決 算 額					
	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度 対 比	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度 対 比
1 水道事業費用	668,377,000	100.0%	669,116,000	100.0%	△ 739,000	99.9%	608,616,650	100.0%	585,561,511	100.0%	23,055,139	103.9%
(1) 営業費用	573,864,890	85.9%	571,411,770	85.4%	2,453,120	100.4%	523,712,650	86.0%	499,887,158	85.4%	23,825,492	104.8%
(2) 営業外費用	87,431,000	13.1%	91,194,000	13.6%	△ 3,763,000	95.9%	83,322,890	13.7%	84,679,713	14.5%	△ 1,356,823	98.4%
(3) 特別損失	1,581,110	0.2%	1,010,230	0.2%	570,880	156.5%	1,581,110	0.3%	994,640	0.2%	586,470	159.0%
(4) 予備費	5,500,000	0.8%	5,500,000	0.8%	0	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-

(3) 資本の収入 (単位:円)

科目	予 算 現 額						決 算 額					
	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度 対 比	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度 対 比
1 資本の収入	267,994,000	100.0%	294,414,000	100.0%	△ 26,420,000	91.0%	245,536,669	100.0%	299,522,714	100.0%	△ 53,986,045	82.0%
(1) 企業債	191,220,000	71.4%	166,283,000	56.5%	24,937,000	115.0%	165,900,000	67.6%	146,600,000	48.9%	19,300,000	113.2%
(2) 出資金	38,373,000	14.3%	36,787,000	12.5%	1,586,000	104.3%	38,372,486	15.6%	36,786,799	12.3%	1,585,687	104.3%
(3) 固定資産売却代金	1,000	0.0%	1,000	0.0%	0	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
(4) 補助金	24,500,000	9.1%	60,693,000	20.6%	△ 36,193,000	40.4%	27,060,000	11.0%	60,593,000	20.2%	△ 33,533,000	44.7%
(5) 工事負担金	13,900,000	5.2%	30,650,000	6.9%	△ 16,750,000	45.4%	14,204,183	5.8%	55,542,915	18.6%	△ 41,338,732	25.6%

(4) 資本の支出 (単位:円)

科目	予 算 現 額						決 算 額						
	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度 対 比	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度 対 比	
1 資本の支出	617,881,000	100.0%	679,544,000	100.0%	△ 61,663,000	90.9%	599,410,657	100.0%	655,179,711	100.0%	△ 55,769,054	91.5%	
(1) 建設改良費	334,211,000	54.1%	400,028,000	58.9%	△ 65,817,000	83.5%	315,741,357	52.7%	375,665,253	57.3%	△ 59,923,896	84.0%	
内 訳	設備改良費	5,749,400	0.9%	6,764,000	1.0%	△ 1,014,600	85.0%	346,635	0.1%	274,164	0.0%	72,471	126.4%
	増補改良事業費	253,203,600	41.0%	321,101,000	47.3%	△ 67,897,400	78.9%	248,793,600	41.5%	316,669,100	48.3%	△ 67,875,500	78.6%
	拡張事業費	47,415,000	7.7%	43,399,000	6.4%	4,016,000	109.3%	46,498,000	7.7%	39,259,000	6.0%	7,239,000	118.4%
	建設改良事務費	27,843,000	4.5%	28,764,000	4.2%	△ 921,000	96.8%	20,103,122	3.4%	19,462,989	3.0%	640,133	103.3%
(2) 企業債償還金	283,670,000	45.9%	279,516,000	41.1%	4,154,000	101.5%	283,669,300	47.3%	279,514,458	42.7%	4,154,842	101.5%	

【第3表-1】

総収益・総費用比較表

(単位:円)

区分 年度	総収益		総費用		純利益(純損失)	
	金額	前年度 対比	金額	前年度 対比	金額	前年度 対比
R3	637,047,556	96.5%	572,929,967	103.5%	64,117,589	60.3%
R2	659,840,601	111.8%	553,591,611	97.9%	106,248,990	430.3%
R1	590,295,166	104.9%	565,601,970	112.6%	24,693,196	40.9%
H30	562,827,921	98.8%	502,403,657	101.7%	60,424,264	80.0%
H29	569,449,431	101.9%	493,876,542	98.5%	75,572,889	109.3%

【第3表-2】

総収益内訳表

(単位:円)

年度 項目	R 3 年度			R 2 年度			R 1 年度			H 30 年度			H 29 年度		
	金額	構成比	前年度 対比	金額	構成比	前年度 対比	金額	構成比	前年度 対比	金額	構成比	前年度 対比	金額	構成比	前年度 対比
給水収益	571,443,887	89.7%	109.6%	521,309,457	79.0%	98.7%	528,386,272	89.5%	105.2%	502,469,404	89.3%	98.3%	511,144,900	89.8%	100.7%
受託工事収益	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	皆減	7,209,405	1.3%	皆増	0	0.0%	-
その他営業収益	21,902,312	3.4%	107.2%	20,427,219	3.1%	110.8%	18,432,860	3.1%	79.1%	23,291,200	4.1%	80.4%	28,985,159	5.1%	130.2%
受取利息	20,748	0.0%	100.3%	20,695	0.0%	15.6%	133,062	0.0%	633.6%	21,001	0.0%	62.5%	33,605	0.0%	13.8%
他会計補助金	10,169,485	1.6%	12.2%	83,622,578	12.7%	722.7%	11,570,780	2.0%	308.0%	3,756,773	0.7%	94.4%	3,977,576	0.7%	94.9%
長期前受金戻入	31,385,182	5.0%	106.6%	29,454,031	4.5%	101.0%	29,148,240	4.9%	115.6%	25,222,686	4.5%	106.3%	23,723,725	4.2%	101.6%
雑収益	2,116,893	0.3%	42.4%	4,994,090	0.8%	196.8%	2,537,362	0.4%	305.2%	831,502	0.1%	55.3%	1,503,406	0.3%	148.2%
固定資産売却益	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-
過年度損益修正益	9,049	0.0%	72.2%	12,531	0.0%	14.5%	86,590	0.0%	333.7%	25,950	0.0%	32.0%	81,060	0.0%	43.7%
計	637,047,556	100.1%	96.5%	659,840,601	100.0%	111.8%	590,295,166	100.0%	104.9%	562,827,921	100.0%	98.8%	569,449,431	100.0%	101.9%

【第3表-3】

使途別費用内訳表

(単位:円)

年度 項目	R 3 年度			R 2 年度			R 1 年度			H 30 年度			H 29 年度		
	金額	構成比	前年度 対比	金額	構成比	前年度 対比	金額	構成比	前年度 対比	金額	構成比	前年度 対比	金額	構成比	前年度 対比
人件費	60,082,194	10.5%	111.6%	53,855,304	9.7%	91.0%	59,171,167	10.5%	115.7%	51,156,229	10.2%	99.2%	51,568,836	10.4%	98.1%
物件費等	162,857,906	28.5%	108.4%	150,249,183	27.2%	99.1%	151,660,146	26.9%	124.7%	121,660,052	24.2%	99.9%	121,777,485	24.7%	98.7%
減価償却費	284,351,190	49.8%	101.1%	281,371,639	50.9%	100.0%	281,467,641	49.9%	108.3%	259,877,079	51.8%	104.9%	247,624,601	50.2%	98.9%
資産減耗費	1,527,552	0.3%	6595.6%	23,160	0.0%	21.1%	109,871	0.0%	42.9%	255,835	0.1%	皆増	0	0.0%	0.0%
企業債利息	62,530,015	10.9%	93.1%	67,187,479	12.2%	93.1%	72,155,008	12.8%	104.9%	68,781,477	13.7%	94.7%	72,641,210	14.7%	98.9%
借入金利息	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
材料売却原価		-	-		-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
計	571,348,857	100.0%	103.4%	552,686,765	100.0%	97.9%	564,563,833	100.0%	112.5%	501,730,672	100.0%	101.6%	493,612,132	100.0%	98.7%

【第4表】

損益計算書構成及びすう勢比率表

(単位:円)

科 目	貸 方 (収 入)										すう 勢 比 率			
	金 額					構 成 比					R3年度	R2年度	R1年度	H30年度
	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度
1 営業収益	593,346,199	541,736,676	546,819,132	532,970,009	540,130,059	93.1%	82.1%	92.6%	94.7%	94.9%	109.9%	100.3%	101.2%	98.7%
(1)給水収益	571,443,887	521,309,457	528,386,272	502,469,404	511,144,900	89.7%	79.0%	89.5%	89.3%	89.8%	111.8%	102.0%	103.4%	98.3%
(2)受託工事収益	0	0	0	7,209,405	0	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	—	—	—	—
(3)その他営業収益	21,902,312	20,427,219	18,432,860	23,291,200	28,985,159	3.4%	3.1%	3.1%	4.1%	5.1%	75.6%	70.5%	63.6%	80.4%
2 営業外収益	43,692,308	118,091,394	43,389,444	29,831,962	29,238,312	6.9%	17.9%	7.4%	5.3%	5.1%	149.4%	403.9%	148.4%	102.0%
(1)長期前受金戻入	31,385,182	29,454,031	29,148,240	25,222,686	23,723,725	5.0%	4.4%	4.9%	4.5%	4.1%	132.3%	124.2%	122.9%	106.3%
(2)受取利息	20,748	20,695	133,062	21,001	33,605	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	61.7%	61.6%	396.0%	62.5%
(3)他会計補助金	10,169,485	83,622,578	11,570,780	3,756,773	3,977,576	1.6%	12.7%	2.0%	0.7%	0.7%	255.7%	2102.4%	290.9%	94.4%
(4)雑収益	2,116,893	4,994,090	2,537,362	831,502	1,503,406	0.3%	0.8%	0.4%	0.1%	0.3%	140.8%	332.2%	168.8%	55.3%
3 特別利益	9,049	12,531	86,590	25,950	81,060	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.2%	15.5%	106.8%	32.0%
(1)固定資産売却益	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	—	—
(2)過年度損益修正益	9,049	12,531	86,590	25,950	81,060	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.2%	15.5%	106.8%	32.0%
合 計	637,047,556	659,840,601	590,295,166	562,827,921	569,449,431	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	111.9%	115.9%	103.7%	98.8%

科 目	借 方 (支 出)										すう 勢 比 率			
	金 額					構 成 比					R3年度	R2年度	R1年度	H30年度
	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度
1 営業費用	507,958,242	485,376,795	492,407,919	432,883,682	420,862,754	79.7%	73.6%	83.4%	76.9%	73.9%	120.7%	115.3%	117.0%	102.9%
(1)原水及び浄水費	57,357,623	60,113,188	49,837,304	43,593,617	44,030,408	9.0%	9.1%	8.4%	7.7%	7.7%	130.3%	136.5%	113.2%	99.0%
(2)配水及び給水費	54,244,944	50,431,868	69,353,780	40,155,296	47,617,764	8.5%	7.6%	11.7%	7.1%	8.4%	113.9%	105.9%	145.6%	84.3%
(3)受託工事費	0	0	0	9,364,000	0	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	—	—	—	—
(4)総係費	110,476,933	93,436,940	91,639,323	79,637,855	81,589,981	17.3%	14.2%	15.5%	14.1%	14.3%	135.4%	114.5%	112.3%	97.6%
(5)減価償却費	284,351,190	281,371,639	281,467,641	259,877,079	247,624,601	44.6%	42.6%	47.7%	46.2%	43.5%	114.8%	113.6%	113.7%	104.9%
(6)資産減耗費	1,527,552	23,160	109,871	255,835	0	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	—	—
(7)その他営業費用	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	—	—
2 営業外費用	63,534,350	67,309,970	72,155,914	68,846,990	72,749,378	10.0%	10.2%	12.2%	12.2%	12.8%	87.3%	92.5%	99.2%	94.6%
(1)支払利息	62,530,015	67,187,479	72,155,008	68,781,477	72,641,210	9.8%	10.2%	12.2%	12.2%	12.8%	86.1%	92.5%	99.3%	94.7%
(2)雑支出	1,004,335	122,491	906	65,513	108,168	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	928.5%	113.2%	0.8%	60.6%
3 特別損失	1,437,375	904,846	1,038,137	672,985	264,410	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	543.6%	342.2%	392.6%	254.5%
(1)その他特別損失	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	—	—
(2)過年度損益修正損	1,437,375	904,846	1,038,137	672,985	264,410	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	543.6%	342.2%	392.6%	254.5%
小 計	572,929,967	553,591,611	565,601,970	502,403,657	493,876,542	89.9%	83.9%	95.8%	89.3%	86.7%	116.0%	112.1%	114.5%	101.7%
当年度純利益(純損失)	64,117,589	106,248,990	24,693,196	60,424,264	75,572,889	10.1%	16.1%	4.2%	10.7%	13.3%	84.8%	140.6%	32.7%	80.0%
合 計	637,047,556	659,840,601	590,295,166	562,827,921	569,449,431	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	111.9%	115.9%	103.7%	98.8%

(注) すう勢比率は、平成29年度を100とする。

【第5表-1】

賃借対照表構成及びすう勢比率表(資産)

(単位:円)

科 目	借 方 (資 産)													
	金 額					構 成 比					すう 勢 比 率			
	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度
1 固定資産	7,865,034,128	7,861,957,971	7,800,061,957	7,075,744,889	7,011,057,687	93.2%	92.8%	93.4%	91.3%	91.4%	112.2%	112.1%	111.3%	100.9%
(1)有形固定資産	7,858,365,946	7,851,810,871	7,786,435,939	7,058,639,953	7,000,860,212	93.1%	92.7%	93.2%	91.1%	91.3%	112.2%	112.2%	111.2%	100.8%
ア 土地	244,886,389	244,886,389	244,886,389	239,242,606	239,242,606	2.9%	2.9%	2.9%	3.1%	3.1%	102.4%	102.4%	102.4%	100.0%
イ 建物	151,531,255	157,823,236	164,115,217	165,212,611	170,855,498	1.8%	1.9%	2.0%	2.1%	2.2%	88.7%	92.4%	96.1%	96.7%
ウ 構築物	7,236,595,915	7,026,810,429	7,014,605,043	6,421,152,278	6,370,655,097	85.8%	82.9%	84.0%	82.8%	83.1%	113.6%	110.3%	110.1%	100.8%
エ 機械及び装置	179,936,121	175,497,186	192,967,182	189,694,944	215,690,575	2.1%	2.1%	2.3%	2.4%	2.8%	83.4%	81.4%	89.5%	87.9%
オ 車両運搬具	502,291	502,291	588,325	992,500	1,642,278	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.6%	30.6%	35.8%	60.4%
カ 工具器具及び備品	4,000,154	4,379,594	4,794,817	4,798,459	1,796,313	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	222.7%	243.8%	266.9%	267.1%
キ 建設仮勘定	40,913,821	241,911,746	164,478,966	37,546,555	977,845	0.5%	2.9%	2.0%	0.5%	0.0%	4184.1%	24739.3%	16820.6%	3839.7%
(2)無形固定資産	5,251,182	8,730,100	12,209,018	15,687,936	8,780,475	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	59.8%	99.4%	139.0%	178.7%
ア 電話加入権	41,200	41,200	41,200	41,200	41,200	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
イ ソフトウェア	5,209,982	8,688,900	12,167,818	15,646,736	8,739,275	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	59.6%	99.4%	139.2%	179.0%
(3)投資	1,417,000	1,417,000	1,417,000	1,417,000	1,417,000	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ア 投資有価証券	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
イ 出資金	1,417,000	1,417,000	1,417,000	1,417,000	1,417,000	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2 流動資産	573,476,541	610,674,246	554,489,991	675,677,642	656,854,533	6.8%	7.2%	6.6%	8.7%	8.6%	87.3%	93.0%	84.4%	102.9%
(1)現金・預金	462,978,054	468,400,811	422,474,548	579,742,882	536,225,918	5.5%	5.5%	5.1%	7.5%	7.0%	86.3%	87.4%	78.8%	108.1%
(2)未収金	92,091,140	123,905,041	116,132,172	79,548,821	84,687,614	1.1%	1.5%	1.4%	1.0%	1.1%	108.7%	146.3%	137.1%	93.9%
(3)貯蔵品	8,407,347	8,368,394	5,883,271	6,385,939	3,651,001	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	230.3%	229.2%	161.1%	174.9%
(4)前払金	0	0	0	0	22,290,000	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(5)その他流動資産	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
資産合計	8,438,510,669	8,472,632,217	8,354,551,948	7,751,422,531	7,667,912,220	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	110.0%	110.5%	109.0%	101.1%

(注) すう勢比率は、平成29年度を100とする。

【第5表-2】

賃借対照表構成及びすう勢比率表(負債及び資本)

(単位:円)

科 目	貸 方 (負債及び資本)													
	金 額					構 成 比					すう 勢 比 率			
	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度
1 固定負債	4,133,748,139	4,250,065,761	4,387,135,060	3,971,960,986	4,017,152,525	49.0%	50.2%	52.5%	51.2%	52.4%	102.9%	105.8%	109.2%	98.9%
(1)企業債	4,133,748,139	4,250,065,761	4,387,135,060	3,971,960,986	4,017,152,525	49.0%	50.2%	52.5%	51.2%	52.4%	102.9%	105.8%	109.2%	98.9%
2 流動負債	346,715,937	373,225,576	337,541,976	404,279,385	368,886,936	4.1%	4.4%	4.0%	5.2%	4.8%	94.0%	101.2%	91.5%	109.6%
(1)企業債	282,217,621	283,669,299	279,514,458	250,491,539	225,745,917	3.3%	3.3%	3.3%	3.2%	2.9%	125.0%	125.7%	123.8%	111.0%
(2)未払金	33,944,197	59,069,814	27,336,626	127,052,742	63,921,299	0.4%	0.7%	0.3%	1.6%	0.8%	53.1%	92.4%	42.8%	198.8%
(3)引当金	5,237,000	5,257,000	5,356,000	5,780,000	6,482,540	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	80.8%	81.1%	82.6%	89.2%
(4)上下水道料金預り金	15,335,110	14,280,230	15,284,050	10,955,104	62,737,180	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.8%	24.4%	22.8%	24.4%	17.5%
(5)その他流動負債	9,982,009	10,949,233	10,050,842	10,000,000	10,000,000	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	99.8%	109.5%	100.5%	100.0%
3 繰延収益	922,869,594	916,653,956	840,223,777	748,071,254	724,390,812	10.9%	10.8%	10.1%	9.7%	9.4%	127.4%	126.5%	116.0%	103.3%
(1)長期前受金	1,463,782,446	1,426,181,626	1,320,297,416	1,198,996,653	1,150,093,525	17.3%	16.8%	15.8%	15.5%	15.0%	127.3%	124.0%	114.8%	104.3%
(2)収益化累計額	△ 540,912,852	△ 509,527,670	△ 480,073,639	△ 450,925,399	△ 425,702,713	△ 6.4%	△ 6.0%	△ 5.7%	△ 5.8%	△ 5.6%	127.1%	119.7%	112.8%	105.9%
4 資本金	2,496,497,332	2,390,124,846	2,303,338,047	2,117,250,265	2,052,702,034	29.6%	28.2%	27.6%	27.3%	26.8%	121.6%	116.4%	112.2%	103.1%
(1)自己資本金	2,496,497,332	2,390,124,846	2,303,338,047	2,117,250,265	2,052,702,034	29.6%	28.2%	27.6%	27.3%	26.8%	121.6%	116.4%	112.2%	103.1%
(2)借入資本金	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
ア 企業債	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
5 剰余金	538,679,667	542,562,078	486,313,088	509,860,641	504,779,913	6.4%	6.4%	5.8%	6.6%	6.6%	106.7%	107.5%	96.3%	101.0%
(1)資本剰余金	1,759,251	1,759,251	1,759,251	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
ア 受贈財産評価額	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
イ 工事負担金	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
ウ 国庫補助金	1,413,600	1,413,600	1,413,600	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
エ 県費補助金	139,677	139,677	139,677	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
オ その他資本剰余金	205,974	205,974	205,974	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
(2)利益剰余金	536,920,416	540,802,827	484,553,837	509,860,641	504,779,913	6.4%	6.4%	5.8%	6.6%	6.6%	106.4%	107.1%	96.0%	101.0%
ア 減債積立金	271,106,627	216,857,637	192,164,441	131,740,177	10,663,674	3.2%	2.6%	2.3%	1.7%	0.1%	2542.3%	2033.6%	1802.0%	1235.4%
イ 建設改良積立金	25,000,000	49,696,200	117,696,200	167,696,200	217,696,200	0.3%	0.6%	1.4%	2.2%	2.8%	11.5%	22.8%	54.1%	77.0%
ウ 当年度未処分利益剰余金	240,813,789	274,248,990	174,693,196	210,424,264	276,420,039	2.9%	3.2%	2.1%	2.7%	3.6%	87.1%	99.2%	63.2%	76.1%
負債資本合計	8,438,510,669	8,472,632,217	8,354,551,948	7,751,422,531	7,667,912,220	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	110.0%	110.5%	109.0%	101.1%

(注) すう勢比率は、平成29年度を100とする。

【第6表】

経 営 分 析 表

項 目		令和3年度	令和2年度	比較増減	*類似団体 (R2年度)	算 式
構成比率	1 固定資産構成比率 (%)	93.2	92.8	0.4	86.7	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$
	2 固定負債構成比率 (%)	49.0	50.2	△ 1.2	26.4	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$
	3 自己資本構成比率 (%)	46.9	45.4	1.5	69.6	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$
財務比率	4 固定資産対 長期資本比率 (%)	97.2	97.1	0.1	90.4	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$
	5 企業債償還元金対 減価償却費比率 (%)	112.1	111.0	1.1	85.2	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$
	6 固定比率 (%)	198.7	204.2	△ 5.5	124.7	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$
	7 流動比率 (%)	165.4	163.6	1.8	327.8	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
回 転 率	8 自己資本回転率 (回)	0.04	0.04	0.00	0.11	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{平均自己資本}(\text{自己資本金} + \text{剰余金})}$
	9 固定資産回転率 (回)	0.02	0.02	0.00	0.09	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{平均固定資産}}$
	10 流動資産回転率 (回)	0.25	0.23	0.02	0.54	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{平均流動資産}}$
	11 未収金回転率 (回)	1.37	1.12	0.25	5.88	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{平均未収金}}$
損 益 等 に 関 す る 各 種 比 率	12 総資本利益率 (%)	0.19	0.32	△ 0.13	0.76	$\frac{\text{当年度純利益}}{\text{平均総資本}(\text{負債} + \text{資本})} \times 100$
	13 総収支比率 (%)	111.2	119.2	△ 8.0	108.5	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
	14 営業収支比率 (%)	116.8	111.6	5.2	91.5	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$
	15 職員給与費対 営業収益比率 (%)	10.1	10.0	0.1	10.5	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$
	16 施設利用率 (%)	42.3	43.6	△ 1.3	60.1	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$
	17 負荷率 (%)	80.8	57.7	23.1	81.9	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$
	18 最大稼働率 (%)	52.4	75.6	△ 23.2	73.4	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$
19 配水管使用効率 (m ³ /m)	12.3	12.7	△ 0.4	12.5	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{配水管延長}} \times 100$	

(注) 平均=(期首+期末)÷2

*類似団体は、総務省「水道事業経営指標」による給水人口3万人以上5万人未満の市町村の全国平均値

下水道事業会計

1 業務の状況

令和3年度の接続戸数は14,078戸で、前年度より215戸（1.6%）増加している。

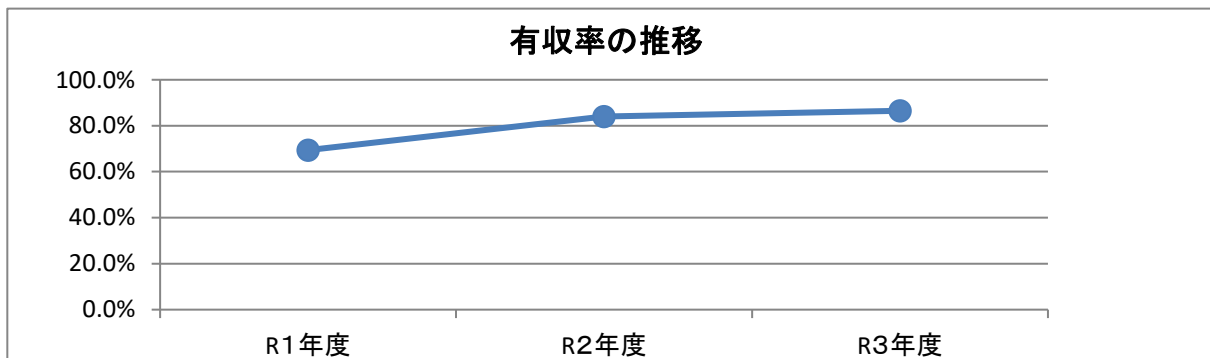
処理区域内人口に対する普及率は95.3%であり、前年度より0.5ポイント増加している。

総排水量は4,269,561 m³で前年度と比べ189,732 m³（4.3%）の減、有収水量は、3,694,314 m³と前年度と比べ51,378 m³（1.4%）減少している。

有収率は86.5%と前年度より2.5ポイント増加している。汚泥処分量は、3,059 t と前年度と比べ208 t 増加している。

(1) 業務量

項目	単位	R3年度		R2年度		R1年度
		数量	前年度対比	数量	前年度対比	数量
行政区域内人口(A)	人	40,298	98.4%	40,933	98.6%	41,500
処理区域内人口(B)	人	38,392	99.0%	38,797	99.1%	39,145
普及率(B/A)	%	95.3		94.8		94.3
接続戸数	戸	14,078	101.6%	13,863	100.8%	13,751
総排水量(C)	m ³	4,269,561	95.7%	4,459,293	83.4%	5,346,164
有収水量(D)	m ³	3,694,314	98.6%	3,745,692	101.0%	3,708,523
有収率(D/C)	%	86.5		84.0		69.4
汚泥処分量	t	3,059	107.3%	2,851	88.9%	3,207



(2) 建設改良事業の状況

公共下水道事業では、本江地内他において新たに下水道管90mを布設した。また、魚津市浄化センターや北鬼江中継ポンプ場において、施設の再構築基本設計（耐震設計）を実施した。特定環境保全公共下水道事業では、六郎丸地内で1,220mを布設した。

雨水事業では、こうなぎ川1号雨水幹線118mの整備や村木2号雨水幹線の整備69mを行うなど浸水被害の軽減を図った。

また、令和2年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、管路施設等点検調査を実施した。

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

各科目の予算の執行状況は、下表のとおりである。

(単位：円)

収入	区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	予算に対する 増減額 (B) - (A)	決算額の予算額対比		内仮受 消費税等
					R3年度	R2年度	
収入	1 下水道事業収益	1,776,205,000	1,730,643,981	△ 45,561,019	97.4%	95.9%	69,130,247
	(1) 営業収益	775,242,000	794,916,271	19,674,271	102.5%	100.5%	69,007,532
	(2) 営業外収益	1,000,339,000	935,720,100	△ 64,618,900	93.5%	92.9%	122,024
	(3) 特別利益	624,000	7,610	△ 616,390	1.2%	28.7%	691

(単位：円)

支出	区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	決算額の予算額対比		内仮払 消費税等
						R3年度	R2年度	
支出	1 下水道事業費用	1,776,205,000	1,710,312,941	0	65,892,059	96.3%	94.7%	30,172,402
	(1) 営業費用	1,503,872,000	1,471,668,021	0	32,203,979	97.9%	96.6%	30,014,055
	(2) 営業外費用	269,591,170	236,903,090	0	32,688,080	87.9%	84.7%	0
	(3) 特別損失	1,741,830	1,741,830	0	0	100.0%	84.5%	158,347
	(4) 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	-	-	0

① 収益的収入

下水道事業収益は、予算額1,776,205千円に対し、決算額は1,730,644千円(内、仮受消費税等69,130千円)で、予算に対する収入率は97.4%となっている。

② 収益的支出

下水道事業費用は、予算額1,776,205千円に対し、決算額は1,710,313千円(内、仮払消費税等30,172千円)で、執行率は96.3%となっている。

営業費用は、1,471,668千円で不用額は32,204千円、営業外費用は、236,903千円で不用額は32,688千円となっている。

(2) 資本的収入及び支出

各科目の予算の執行状況は、下表のとおりである。

(単位：円)

	区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	予算に対する 増減額 (B)+(C)-(A)	決算額の予算額対比		内仮受 消費税等
						R3年度	R2年度	
収 入	1 資本的収入	1,170,803,000	961,839,055	0	△ 208,963,945	82.2%	86.6%	0
	(1) 企業債	726,925,000	614,300,000	0	△ 112,625,000	84.5%	83.7%	0
	(2) 補助金	201,041,000	141,051,000	0	△ 59,990,000	70.2%	78.2%	0
	(3) 他会計出資金	188,150,000	150,000,000	0	△ 38,150,000	79.7%	76.7%	0
	(4) 負担金及び分担金	54,686,000	56,488,055	0	1,802,055	103.3%	142.8%	0
	(5) 固定資産売却代金	1,000	0	0	△ 1,000	-	-	0

(単位：円)

	区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	決算額の予算額対比		内仮払 消費税等	
						R3年度	R2年度		
支 出	1 資本的支出	1,790,991,900	1,577,440,134	103,533,000	110,018,766	88.1%	93.0%	33,788,685	
	(1) 建設改良費	558,557,808	394,799,194	103,533,000	60,225,614	70.7%	77.6%	33,788,685	
	内 訳	管渠建設改良費	346,019,900	269,804,911	41,833,000	34,381,989	78.0%	86.9%	24,500,980
		施設建設改良費	184,625,000	102,070,000	61,700,000	20,855,000	55.3%	59.4%	9,279,089
		事務費	27,534,000	22,545,375	0	4,988,625	81.9%	63.3%	8,616
		返還金	378,908	378,908	0	0	100.0%	0.0%	0
	(2) 企業債償還金	1,231,763,000	1,182,640,940	0	49,122,060	96.0%	99.6%	0	
(3) 予備費	671,092	0	0	671,092	-	-	0		

① 資本的収入

資本的収入は、予算額1,170,803千円に対し、決算額は961,839千円で、予算に対する収入率は82.2%である。

これは、企業債や補助金及び他会計からの出資による収入が減になったためである。

② 資本的支出

資本的支出は、予算額1,790,992千円に対し、決算額は1,577,440千円(内、仮払消費税等33,789千円)で、予算に対する執行率は88.1%で、翌年度繰越額が103,533千円となっている。

建設改良費で103,533千円の翌年度繰越額が生じ、60,226千円が不用額となっている。

③ 補てん財源

(単位：円)

区 分		R 3 年度金額	R 2 年度金額	対前年度増減額	前年度 対比
資本的収入額が資本的 支出額に不足する額		615,601,079	721,829,804	△ 106,228,725	85.3%
補 て ん 財 源	当年度分消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	17,202,727	14,499,397	2,703,330	118.6%
	過年度分損益勘定留保資金	127,232	20,899,455	△ 20,772,223	0.6%
	当年度分損益勘定留保資金	598,271,120	682,454,011	△ 84,182,891	87.7%
	減債積立金	0	3,976,941	△ 3,976,941	0.0%
	計	615,601,079	721,829,804	△ 106,228,725	85.3%

資本的収入額が資本的支出額に不足する額615,601千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額のほか、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしている。

(3) その他の事項

① 企業債の状況

(単位：円)

区 分	R 3 年度金額	R 2 年度金額	対前年度 増 減 額	前年度 対 比
発 行 額	614,300,000	555,618,000	58,682,000	110.6%
償 還 額	1,182,640,940	1,208,785,673	△ 26,144,733	97.8%
未償還残高	14,449,080,131	15,017,421,071	△ 568,340,940	96.2%
支 払 利 息	213,718,097	236,409,280	△ 22,691,183	90.4%

企業債の期首現在高は15,017,421千円であり、令和3年度発行額は614,300千円、償還額は1,182,641千円であり、未償還残高は14,449,080千円である。

② 一時借入金

令和3年度中において、水道事業会計より一時借入金として100,000千円の借入をしたが、年度末までに返済しており、一時借入金の年度末残高は0円である。

3 経営の状況

(1) 損益収支（税抜）

収益内訳表

(単位:円)

区 分	R3年度		R2年度		対前年度 増減額	前年度 対比
	金額	構成比	金額	構成比		
1 営業収益	725,908,739	43.7%	726,350,195	39.3%	△ 441,456	99.9%
(1) 下水道使用料	690,075,528	41.5%	689,754,581	37.3%	320,947	100.0%
(2) 他会計負担金	35,659,111	2.1%	36,461,314	2.0%	△ 802,203	97.8%
(3) その他営業収益	174,100	0.0%	134,300	0.0%	39,800	129.6%
2 営業外収益	935,598,076	56.3%	1,123,136,358	60.7%	△ 187,538,282	83.3%
(1) 受取利息及び配当金	0	0.0%	0	0.0%	0	—
(2) 他会計負担金	431,833,392	26.0%	540,970,877	29.2%	△ 109,137,485	79.8%
(3) 他会計補助金	2,507,497	0.2%	1,667,809	0.1%	839,688	150.3%
(4) 長期前受金戻入	492,655,255	29.7%	566,481,384	30.6%	△ 73,826,129	87.0%
(5) 雑収益	8,601,932	0.5%	14,016,288	0.8%	△ 5,414,356	61.4%
3 特別利益	6,919	0.0%	166,838	0.0%	△ 159,919	4.1%
(1) 固定資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	—
(2) 過年度損益修正益	6,919	0.0%	166,838	0.0%	△ 159,919	4.1%
(3) その他特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	—
総 収 益	1,661,513,734	100.0%	1,849,653,391	100.0%	△ 188,139,657	89.8%

費用内訳表

(単位:円)

区 分	R3年度		R2年度		対前年度 増減額	前年度 対比
	金額	構成比	金額	構成比		
1 営業費用	1,441,653,966	86.8%	1,599,278,040	86.5%	△ 157,624,074	90.1%
(1) 管渠費	14,479,876	0.9%	18,475,506	1.0%	△ 3,995,630	78.4%
(2) 施設費	267,630,533	16.1%	272,849,997	14.8%	△ 5,219,464	98.1%
(3) 総係費	63,598,276	3.8%	58,970,420	3.2%	4,627,856	107.8%
(4) 減価償却費	1,095,945,281	66.0%	1,247,871,388	67.5%	△ 151,926,107	87.8%
(5) 資産減耗費	0	0.0%	1,110,729	0.1%	△ 1,110,729	皆減
2 営業外費用	214,443,390	12.9%	237,703,976	12.9%	△ 23,260,586	90.2%
(1) 支払利息	213,738,809	12.9%	236,429,934	12.8%	△ 22,691,125	90.4%
(2) 雑支出	704,581	0.0%	1,274,042	0.1%	△ 569,461	55.3%
3 特別損失	1,583,483	0.1%	1,665,439	0.1%	△ 81,956	95.1%
(1) 過年度損益修正損	1,583,483	0.1%	1,442,139	0.1%	141,344	109.8%
(2) その他特別損失	0	0.0%	223,300	0.0%	△ 223,300	皆減
総 費 用	1,657,680,839	99.8%	1,838,647,455	99.4%	△ 180,966,616	90.2%
当年度純利益	3,832,895	0.2%	11,005,936	0.6%	△ 7,173,041	34.8%
合 計	1,661,513,734	100.0%	1,849,653,391	100.0%	△ 188,139,657	89.8%

令和3年度の総収益は1,661,514千円で、前年度より188,140千円（10.2%）減少している。

営業収益は725,909千円で前年度より441千円（0.1%）の減となっており、そのうち下水道使用料は前年度より321千円の増、他会計負担金は802千円の減となっている。営業外収益は935,598千円で前年度より187,538千円（16.7%）の減となっており、他会計負担金の減が大きい。

総費用は1,657,681千円で、前年度より180,967千円（9.8%）の減となっている。総費用の内、営業費用は1,441,654千円で、前年度より157,624千円（9.9%）の減である。営業外費用は214,443千円で前年度より23,261千円（9.8%）の減となっている。また、特別損失は1,583千円で前年度より82千円（4.9%）の減となっている。

この結果、総収益から総費用を差し引いた当年度純利益は3,833千円で、前年度より7,173千円（65.2%）の減となっている。

(2) 経営収支（税抜）

（単位：千円）

区 分		R3年度	R2年度	対前年度 増減額	前年度 対比
営業 収 支	営業収益	725,909	726,350	△ 441	99.9%
	営業費用	1,441,654	1,599,278	△ 157,624	90.1%
営業利益・損失 (A)		△ 715,745	△ 872,928		
営業 外 支	営業外収益	935,598	1,123,136	△ 187,538	83.3%
	営業外費用	214,443	237,704	△ 23,261	90.2%
営業外利益・損失 (B)		721,155	885,432		
経常利益 (A)+(B)=(C)		5,409	12,504	△ 7,095	43.3%
特別 収 支	特別利益	7	167	△ 160	4.2%
	特別損失	1,583	1,665	△ 82	95.1%
特別利益・損失 (D)		△ 1,576	△ 1,498		
当年度純利益・純損失 (C)+(D)		3,833	11,006	△ 7,173	34.8%

営業収支では、収益725,909千円に対し、費用は1,441,654千円で、715,745千円の損失となっている。

営業外収支では、収益935,598千円に対し、費用は214,443千円で、721,155千円の利益が生じている。

経常利益（C）は、5,409千円で、特別利益・損失（D）は、1,576千円の損失となっている。

この結果、経常利益に特別損失を加えた当年度純利益は3,833千円となり、前年度より7,173千円（65.2%）の減となっている。

4 財政の状況

(1) 資産

(単位：円)

区 分	R3年度		R2年度		対前年度 増減額	前年度 対比
	金額	構成比	金額	構成比		
1 固定資産	31,376,135,207	99.1%	32,040,784,979	99.4%	△ 664,649,772	97.9%
(1) 有形固定資産	31,319,633,389	98.9%	31,970,157,706	99.2%	△ 650,524,317	98.0%
ア 土地	1,184,625,715	3.7%	1,184,625,715	3.7%	0	100.0%
イ 建物	2,016,592,693	6.4%	2,093,423,150	6.5%	△ 76,830,457	96.3%
ウ 構築物	26,630,218,708	84.1%	27,131,547,884	84.2%	△ 501,329,176	98.2%
エ 機械及び装置	1,385,157,632	4.4%	1,545,079,489	4.8%	△ 159,921,857	89.6%
オ 車両運搬具	0	0.0%	0	0.0%	0	—
カ 工具器具及び備品	68,485	0.0%	181,468	0.0%	△ 112,983	37.7%
キ 建設仮勘定	102,970,156	0.3%	15,300,000	0.0%	87,670,156	673.0%
(2) 無形固定資産	56,501,818	0.2%	70,627,273	0.2%	△ 14,125,455	80.0%
ア その他無形固定資産	56,501,818	0.2%	70,627,273	0.2%	△ 14,125,455	80.0%
イ 建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	—
2 流動資産	278,563,050	0.9%	197,306,909	0.6%	81,256,141	141.2%
(1) 現金・預金	167,936,886	0.5%	26,223,860	0.1%	141,713,026	640.4%
(2) 未収金	98,546,164	0.3%	171,083,049	0.5%	△ 72,536,885	57.6%
(3) 前払金	12,080,000	0.0%	0	0.0%	12,080,000	皆増
(4) その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	—
資産合計	31,654,698,257	100.0%	32,238,091,888	100.0%	△ 583,393,631	98.2%

有形固定資産のうち、建物で76,830千円、構築物で501,329千円、機械及び装置で159,922千円、工具器具及び備品で113千円の減、建設仮勘定では87,670千円の増となっている。無形固定資産のうち、その他無形固定資産で14,125千円の減となっている。

流動資産では、現金・預金で141,713千円の増、未収金で72,537千円の減となっている。

(2) 未収金 (滞納額) (不納欠損前)

未収金内訳表

① 総括表

(単位：円)

区 分	R3年度分 A	内 納 期 経過済額 B	R2年度 以前分 C	合計 (A+C) D	滞納分計 B+C	R2年度末 現在高 E	対前年度 D-E
下水道使用料	87,310,870	5,292,910	3,571,570	90,882,440	8,864,480	91,118,510	△ 236,070
受益者負担金及び分担金	108,700	0	1,613,700	1,722,400	1,613,700	2,723,998	△ 1,001,598
その他未収金	7,089,454	0	0	7,089,454	0		7,089,454
合 計	94,509,024	5,292,910	5,185,270	99,694,294	10,478,180	93,842,508	5,851,786

令和3年度末の未収金 (Dの合計) は99,694千円であり、前年度 (Eの合計) より5,852千円 (6.2%) の増となっている。対前年度 (D-E) では下水道使用料が236千円の減、受益者負担金及び分担金が1,002千円の減、その他未収金が7,089千円の増であった。

その他未収金の主なものは、浄化槽汚泥処理負担金である。

② 令和2年度以前分明細

(単位：円)

下水道使用料	H28年度 以前分	H29年度分	H30年度分	R1年度分	R2年度分	合 計
R2年度末現在 A	392,530	702,360	791,410	1,211,910	88,020,300	91,118,510
R3年度末現在 B	86,190	672,720	664,510	807,600	1,340,550	3,571,570
比較増減 (B-A)	△ 306,340	△ 29,640	△ 126,900	△ 404,310	△ 86,679,750	△ 87,546,940

(3) 負債及び資本・剰余金

区 分	R3年度		R2年度		対前年度 増減額	前年度 対比
	金額	構成比	金額	構成比		
1 固定負債	13,286,279,211	42.0%	13,834,780,131	42.9%	△ 548,500,920	96.0%
(1) 企業債	13,286,279,211	42.0%	13,834,780,131	42.9%	△ 548,500,920	96.0%
ア 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	13,286,279,211	42.0%	13,834,780,131	42.9%	△ 548,500,920	96.0%
2 流動負債	1,359,387,614	4.3%	1,306,696,062	4.1%	52,691,552	104.0%
(1) 企業債	1,162,800,920	3.7%	1,182,640,940	3.7%	△ 19,840,020	98.3%
ア 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	1,162,800,920	3.7%	1,182,640,940	3.7%	△ 19,840,020	98.3%
(2) 一時借入金	0	0.0%	0	0.0%	0	
(3) 未払金	188,767,494	0.6%	120,595,122	0.4%	68,172,372	156.5%
(4) 引当金	3,835,000	0.0%	3,460,000	0.0%	375,000	110.8%
ア 賞与引当金	3,220,000	0.0%	2,919,000	0.0%	301,000	110.3%
イ 貸倒引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	—
ウ 法定福利費引当金	615,000	0.0%	541,000	0.0%	74,000	113.7%
(5) その他流動負債	3,984,200	0.0%	0	0.0%	3,984,200	皆増
ア 預り金	3,984,200	0.0%	0	0.0%	3,984,200	皆増
イ その他流動負債	0	0.0%	0	0.0%	0	—
3 繰延収益	13,682,719,194	43.2%	13,924,136,352	43.2%	△ 241,417,158	98.3%
(1) 長期前受金	15,301,567,215	48.3%	15,050,329,118	46.7%	251,238,097	101.7%
(2) 収益化累計額	△ 1,618,848,021	△ 5.1%	△ 1,126,192,766	△ 3.5%	△ 492,655,255	143.7%
4 資本金	2,711,036,588	8.6%	2,557,059,647	7.9%	153,976,941	106.0%
(1) 自己資本金	2,711,036,588	8.6%	2,557,059,647	7.9%	153,976,941	106.0%
5 剰余金	615,275,650	1.9%	615,419,696	1.9%	△ 144,046	100.0%
(1) 資本剰余金	590,168,285	1.9%	590,168,285	1.8%	0	100.0%
ア 受贈財産評価額	7,097,384	0.0%	7,097,384	0.0%	0	100.0%
イ 国庫補助金	488,345,602	1.5%	488,345,602	1.5%	0	100.0%
ウ 県補助金	94,725,299	0.3%	94,725,299	0.3%	0	100.0%
(2) 利益剰余金	25,107,365	0.1%	25,251,411	0.1%	△ 144,046	99.4%
ア 減債積立金	21,177,489	0.1%	10,177,489	0.0%	11,000,000	208.1%
イ 建設改良積立金	0	0.0%	0	0.0%	0	—
ウ 当年度未処分 利益剰余金	3,929,876	0.1%	15,073,922	0.0%	△ 11,144,046	26.1%
負債・資本合計	31,654,698,257	100.0%	32,238,091,888	100.0%	△ 583,393,631	98.2%

令和3年度の負債・資本総額は31,654,698千円で、この内訳は、固定負債13,286,279千円、流動負債1,359,388千円、繰延収益13,682,719千円、資本金2,711,037千円、剰余金615,276千円となっており、前年度と比べると583,394千円(1.8%)の減となっている。

固定負債のうち、企業債は、元金1,182,641千円を償還し、新たに614,300千円の借入を行った。

流動負債は、前年度より52,692千円(4.0%)の増となったが、これは主に、未払金が68,172千円(56.5%)の増となったためである。

繰延収益は、241,417千円(1.7%)の減となった。

資本金は、自己資本金が153,977千円(6.0%)の増となっている。

剰余金については、利益剰余金が144千円(0.6%)の減となった。

令和3年度未処分利益剰余金は前年度より11,144千円(73.9%)の減となっている。

5 工事の施工状況等

令和3年度の管渠建設改良事業等の執行額は下記の表のとおりである。

(単位：円)

区分	予算額 (A)	執行額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 (B)/(A)
管渠建設改良事業	346,019,900	269,804,911	41,833,000	34,381,989	78.0%
施設建設改良事業	184,625,000	102,070,000	61,700,000	20,855,000	55.3%
合計	530,644,900	371,874,911	103,533,000	55,236,989	70.1%

このうち、1件100万円以上の工事は、下記の表のとおりである。

区分	件数	執行額(円)
管渠建設改良事業	28	351,642,400

主な工事は、特定環境保全公共下水道事業として六郎丸地内で下水道管の布設工事が行われ、また、村木2号雨水幹線の整備等が実施された。

なお、保存工事は、管渠に関する工事21件、施設に関する工事20件で計41件である。

6 経営分析

経営に関する数値は次のとおりである。

(1) 経営の健全性・効率性

① 経常収支比率 (100%を上回っていれば良好)

区分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	100.3%	100.7%	△ 0.4
類似団体 (B)	107.2%	106.6%	0.6
比較 (A-B)	△ 6.9%	△ 5.9%	△ 1.0

経常収益と経常費用の比率を表したものであり、経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示している。100%未満の場合、経常損失が生じている。

② 経費回収率 (100%を上回っていれば良好)

区分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	104.5%	104.4%	0.1
類似団体 (B)	82.7%	81.9%	0.8
比較 (A-B)	21.8%	22.5%	△ 0.7

下水道使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているか表した指標。

③ 累積欠損金比率 (0%であることが求められる)

区分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	0.0%	0.0%	0.0
類似団体 (B)	43.7%	53.4%	△ 9.7
比較 (A-B)	△ 43.7%	△ 53.4%	△ 9.7

営業収益に対する累積欠損金（複数年度にわたって累積した欠損金のこと）の状況を表す指標。

経常収支比率は、100%以上であることから、事業に必要な費用は下水道使用料で賄われている。

経費回収率は、100%以上であることから、下水道使用料で回収すべき経費が賄われている。

累積欠損金比率が0%であることから、累積欠損金は発生していない。

(2) 施設の効率性

①水洗化率

区 分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	88.6%	87.5%	1.1
類似団体 (B)	82.1%	82.6%	△ 0.5
比較 (A-B)	6.5%	4.9%	1.6

処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合を示す。

②年間有収率

区 分	R3年度	R2年度	前年比
魚津市 (A)	86.5%	79.6%	6.9
類似団体 (B)	—	—	—
比較 (A-B)	—	—	—

処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる有収水の割合を示す。

水洗化率は、前年対比1.1ポイントの増である。

年間有収率は、前年対比6.9ポイントの増である。

7 キャッシュ・フロー計算書

業務活動によるキャッシュ・フローは、通常の業務活動の実施による資金の収支や投資活動及び財務活動以外の収支を表すもので、740,111千円である。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得及び売却等の収支を表し、△180,057千円である。財務活動によるキャッシュ・フローは、資金調達、返済に関する収支を表し、△418,341千円である。

業務活動で得た資金を、投資活動及び財務活動に投入し、差引き141,713千円資金が増加した。この結果、令和3年度の期末残高は167,937千円となっている。

(単位：円)

区 分	R 3年度 A	R 2年度 B	増減 A－B
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益 (△純損失)	3,832,895	11,005,936	△ 7,173,041
減価償却費	1,095,945,281	1,247,871,388	△ 151,926,107
引当金の増加額 (△減少)	375,000	937,000	△ 562,000
貸倒引当金の増減額 (△減少)	118,680	514,930	△ 396,250
長期前受金戻入額	△ 492,655,255	△ 566,481,384	73,826,129
固定資産除却損		1,110,729	△ 1,110,729
固定資産売却損・益 (△)	0	0	0
受取利息収入	0	0	0
支払利息	213,738,809	236,429,934	△ 22,691,125
未収金の増加 (△)・減少額	72,418,205	△ 62,120,246	134,538,451
たな卸資産の増減額 (△増)	0	0	0
前払金の増減額 (△増)	△ 12,080,000	7,630,000	△ 19,710,000
未払金の増加・減少 (△) 額	68,172,372	△ 24,373,806	92,546,178
前受金の増減額 (△減)	0	0	0
その他の流動資産の増加 (△)・減少額	0	0	0
その他の流動負債の増加・減少 (△) 額	3,984,200	△ 3,564,000	7,548,200
小 計	953,850,187	848,960,481	104,889,706
利息受取額	0	0	0
利息支払額	△ 213,738,809	△ 236,429,934	22,691,125
業務活動によるキャッシュ・フロー	740,111,378	612,530,547	127,580,831
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 361,010,509	△ 308,868,234	△ 52,142,275
有形固定資産の売却による収入	0	0	0
無形固定資産の取得による支出	0	△ 61,445,455	61,445,455
無形固定資産の売却による収入	0	0	0
固定資産の除去による支出	0	0	0
補助金による収入	128,228,182	110,963,637	17,264,545
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	0	0	0
負担金等による収入	52,724,915	106,487,318	△ 53,762,403
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 180,057,412	△ 152,862,734	△ 27,194,678
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
一時借入による収入	100,000,000	100,000,000	0
一時借入の返済による支出	△ 100,000,000	△ 100,000,000	0
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	614,300,000	555,618,000	58,682,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,182,640,940	△ 1,208,785,673	26,144,733
他会計からの出資による収入	150,000,000	98,700,000	51,300,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 418,340,940	△ 554,467,673	136,126,733
4 資金増加額 (又は減少額)	141,713,026	△ 94,799,860	236,512,886
5 資金期首残高	26,223,860	121,023,720	△ 94,799,860
6 資金期末残高	167,936,886	26,223,860	141,713,026

令和3年度の経営成績は、総収益1,661,514千円に対し、総費用は1,657,681千円で、差引3,833千円の純利益を生じ、3,930千円を当年度未処分利益剰余金として計上している。

資本的収支では収入額961,839千円に対し、支出額は1,577,440千円であり、差引不足額615,601千円を当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしている。

企業債は、事業実施の際の主要な財源であり、令和3年度の借入額は614,300千円、償還額は1,182,641千円で、令和3年度末残高は14,449,080千円となっている。

また、令和3年度中に水道事業会計より100,000千円の一時借入を行ったが、年度末までに全額返済している。

滞納額は、下水道使用料で、前年度より236千円の減、受益者負担金及び分担金で、1,002千円の減となっている。利用者負担の公平性を考え、滞納発生防止と未収金の早期回収に一層努めていただきたい。

下水道事業は、生活環境の改善、公共用水域の水質保全及び浸水被害の解消など、市民生活の根幹を担う重要な事業である。ストックマネジメント計画に基づき、長期的な視点で管の更新や浄化センターの改築等を行われたい。また、引き続き経営の効率化と水洗化率の向上など、事業経営の健全化に取り組まれたい。

なお、下水道使用料は、下水道経営の基本的かつ重要な財源である。施設整備の維持管理や更新については今後増高が見込まれるため、使用料改定の検討も始められたい。

下水道事業会計 決算審査資料

- 第1表 業務実績表
- 第2表 予算決算比較表
- 第3表—1 総収益・総費用比較表
 - 2 総収益内訳表
 - 3 使途別費用内訳表

【第1表】

業 務 実 績 表

年度 項目	単位	R3年度		R2年度		R1年度
		数量	前年度 対比	数量	前年度 対比	数量
行政区域内人口(A)	人	40,298	98.4%	40,933	98.6%	41,500
処理区域内人口(B)	人	38,392	99.0%	38,797	99.1%	39,145
普及率 (B/A)	%	95.3	100.5%	94.8	100.5%	94.3
接 続 戸 数	戸	14,078	101.6%	13,863	100.8%	13,751
総 排 水 量	m ³	4,269,561	95.7%	4,459,293	83.4%	5,346,164
一日平均排水量	m ³	11,697	95.7%	12,217	83.6%	14,607
有 収 水 量	m ³	3,694,314	98.6%	3,745,692	101.0%	3,708,523
有 収 率	%	86.5	103.0%	84.0	121.0%	69.4
汚 泥 処 分 量	t	3,059	107.3%	2,851	88.9%	3,207

【第2表】

予 算 決 算 比 較 表

(1) 収益の収入

(単位:円)

科目	予 算 現 額						決 算 額					
	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度対比	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度対比
1 下水道事業収益	1,776,205,000	100.0%	2,001,457,000	100.0%	△ 225,252,000	88.7%	1,730,643,981	100.0%	1,918,776,312	100.0%	△ 188,132,331	90.2%
(1) 営業収益	775,242,000	43.6%	791,132,000	39.5%	△ 15,890,000	98.0%	794,916,271	45.9%	795,325,634	41.4%	△ 409,363	99.9%
(2) 営業外収益	1,000,339,000	56.3%	1,209,692,000	60.4%	△ 209,353,000	82.7%	935,720,100	54.1%	1,123,269,318	58.5%	△ 187,549,218	83.3%
(3) 特別利益	624,000	0.0%	633,000	0.0%	△ 9,000	98.6%	7,610	0.0%	181,360	0.0%	△ 173,750	4.2%

(2) 収益の支出

(単位:円)

科目	予 算 現 額						決 算 額					
	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度対比	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度対比
1 下水道事業費用	1,776,205,000	100.0%	2,001,457,000	100.0%	△ 225,252,000	88.7%	1,710,312,941	100.0%	1,894,545,021	100.0%	△ 184,232,080	90.3%
(1) 営業費用	1,503,872,000	84.7%	1,688,419,589	84.4%	△ 184,547,589	89.1%	1,471,668,021	86.0%	1,630,385,094	86.1%	△ 158,717,073	90.3%
(2) 営業外費用	269,591,170	15.2%	309,929,060	15.5%	△ 40,337,890	87.0%	236,903,090	13.9%	262,378,276	13.8%	△ 25,475,186	90.3%
(3) 特別損失	1,741,830	0.1%	2,108,351	0.1%	△ 366,521	82.6%	1,741,830	0.1%	1,781,651	0.1%	△ 39,821	97.8%
(4) 予備費	1,000,000	0.0%	1,000,000	0.0%	0	-	0	0.0%	0	0.0%	0	-

(3) 資本の収入

(単位:円)

科目	予 算 現 額						決 算 額					
	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度対比	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度対比
1 資本の収入	1,170,803,000	100.0%	1,028,957,000	100.0%	141,846,000	113.8%	961,839,055	100.0%	891,471,304	100.0%	70,367,751	107.9%
(1) 企業債	726,925,000	62.1%	663,600,000	64.5%	63,325,000	109.5%	614,300,000	63.9%	555,618,000	62.3%	58,682,000	110.6%
(2) 補助金	201,041,000	17.2%	156,101,000	15.2%	44,940,000	128.8%	141,051,000	14.7%	122,060,000	13.7%	18,991,000	115.6%
(3) 他会計出資金	188,150,000	16.1%	128,664,000	12.5%	59,486,000	146.2%	150,000,000	15.6%	98,700,000	11.1%	51,300,000	152.0%
(4) 負担金及び分担金	54,686,000	4.7%	80,591,000	7.8%	△ 25,905,000	67.9%	56,488,055	5.9%	115,093,304	12.9%	△ 58,605,249	49.1%
(5) 固定資産売却代金	1,000	0.0%	1,000	0.0%	0	-	0	0.0%	0	0.0%	0	-

(4) 資本の支出

(単位:円)

科目	予 算 現 額						決 算 額					
	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度対比	R3年度	構成比	R2年度	構成比	増減額	前年度対比
1 資本の支出	1,790,991,900	100.0%	1,735,635,200	100.0%	55,356,700	103.2%	1,577,440,134	100.0%	1,613,301,108	100.0%	△ 35,860,974	97.8%
(1) 建設改良費	558,557,808	31.2%	521,301,200	30.0%	37,256,608	107.1%	394,799,194	25.0%	404,515,435	25.1%	△ 9,716,241	97.6%
(2) 企業債償還金	1,231,763,000	68.8%	1,213,334,000	69.9%	18,429,000	101.5%	1,182,640,940	75.0%	1,208,785,673	74.9%	△ 26,144,733	97.8%
(2) 予備費	671,092	0.0%	1,000,000	0.1%	△ 328,908	67.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	-

【第3表-1】

総収益・総費用比較表

(単位:円)

区分 年度	総収益		総費用		純利益(純損失)	
	金額	前年度 対比	金額	前年度 対比	金額	前年度 対比
R3年度	1,661,513,734	89.8%	1,657,680,839	90.2%	3,832,895	34.8%
R2年度	1,849,653,391	98.8%	1,838,647,455	98.9%	11,005,936	77.3%

【第3表-2】

総収益内訳表

(単位:円)

年度 項目	R3年度			R2年度	
	金額	構成比	前年度 対比	金額	構成比
下水道使用料	690,075,528	41.5%	99.5%	689,754,581	37.3%
他会計負担金(営業収益)	35,659,111	2.1%	97.8%	36,461,314	2.0%
その他営業収益	174,100	0.0%	129.6%	134,300	0.0%
受取利息	0	0.0%	—	0	0.0%
他会計負担金(営業外収益)	431,833,392	26.0%	79.8%	540,970,877	29.2%
他会計補助金	2,507,497	0.2%	150.3%	1,667,809	0.1%
長期前受金戻入	492,655,255	29.7%	87.0%	566,481,384	30.6%
雑収益	8,601,932	0.5%	61.4%	14,016,288	0.8%
固定資産売却益	0	0.0%	—	0	0.0%
過年度損益修正益	6,919	0.0%	4.1%	166,838	0.0%
その他特別利益	0	0.0%	—	0	0.0%
計	1,661,513,734	100.0%	89.8%	1,849,653,391	100.0%

【第3表-3】

使途別費用内訳表

(単位:円)

年度 項目	R3年度			R2年度	
	金額	構成比	前年度 対比	金額	構成比
人件費	43,242,282	2.6%	116.9%	37,004,111	2.0%
物件費等	303,170,984	18.3%	96.3%	314,789,154	17.1%
減価償却費	1,095,945,281	66.2%	87.8%	1,247,871,388	67.9%
資産減耗費	0	0.0%	皆減	1,110,729	0.1%
企業債利息	213,718,097	12.9%	90.4%	236,409,280	12.9%
借入金利息	20,712	0.0%	100.3%	20,654	0.0%
材料売却原価	0	—	—	0	—
計	1,656,097,356	100.0%	90.1%	1,837,205,316	100.0%

